

HP OMi Management Pack for Microsoft Active Directory

ソフトウェアバージョン: 1.00

HP Operations Manager i (Linux および Windows® オペレーティング システム)

オンライン ヘルプの PDF 版

ドキュメントリリース日: 2015 年 1 月

ソフトウェアリリース日: 2014 年 5 月



ご注意

保証

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピュータソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2014-2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe® は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft® および Windows® は、Microsoft グループの米国における登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。<https://softwaresupport.hp.com/group/softwaresupport/search-result?keyword=>

このサイトを利用するには、HP Passport のアカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合は、HP Passport のサインイン ページで **[アカウントを作成してください]** ボタンをクリックしてください。

サポート

次の HP ソフトウェアサポートの Web サイトを参照してください。<https://softwaresupport.hp.com>

このサイトでは、HP のお客様窓口のほか、HP ソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HP ソフトウェア サポート オンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HP ソフトウェアサポートの Web サイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passport ユーザとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport ID を登録するには、<https://softwaresupport.hp.com> にアクセスして **[Register]** をクリックしてください。

アクセスレベルの詳細については、次の Web サイトをご覧ください。<https://softwaresupport.hp.com/web/softwaresupport/access-levels>

HP Software Solutions & Integrations and Best Practices

HP Software Solutions Now (<https://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>) を参照してください。このサイトでは、HP ソフトウェアのカタログに記載された製品の説明を確認したり、情報を交換したり、ビジネス ニーズを解決することができます。

Cross Portfolio Best Practices Library (<https://hpln.hp.com/group/best-practices-hpsw>) からは、様々なベスト プラクティス文書や資料にアクセスすることができます。

目次

第1章: OMi Management Pack for Microsoft Active Directory	6
第2章: 作業の開始	7
BSM での作業の開始	7
タスク 1: BSM コンソールへのノードの追加	7
タスク 2: トポロジ同期設定の確認	7
タスク 3: Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイ	8
タスク 4: 検出の確認	9
タスク 5: Microsoft Active Directory 管理テンプレートまたは Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ	9
タスク 5a: Microsoft Active Directory 管理テンプレートの特定とデプロイ	9
タスク 5b: Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ	11
Microsoft Active Directory 環境の監視	12
OMi での作業の開始	14
タスク 1: OMi コンソールへのノードの追加	14
タスク 2: トポロジ同期設定の確認	15
タスク 3: Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイ	16
タスク 4: 検出の確認	16
タスク 5: Microsoft Active Directory 管理テンプレートまたは Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ	17
タスク 5a: Microsoft Active Directory 管理テンプレートの特定とデプロイ	17
タスク 5b: Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ	18
Microsoft Active Directory 環境の監視	19
第3章: コンポーネント	22
Microsoft Active Directory 管理テンプレート	22
基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレート	25
詳細 Microsoft Active Directory 管理テンプレート	35
ハイブリッド Microsoft Active Directory 管理テンプレート	42
Microsoft Active Directory のアスペクト	49
パラメータ	85
Microsoft Active Directory のパラメータ	85
OMi MP for Microsoft Active Directory /パラメータ	85
パラメータの調整	86
構成アイテム (CI) と CI タイプ (CIT)	86

ランタイム サービス モデル (RTSM) のビュー	86
エンリッチメント ルール	89
状況 インジケータ (HI) とイベント タイプ インジケータ (ETI)	90
トポロジ ベースのイベント 相関 処理 (TBEC) ルール	95
Operations Orchestration (OO) フロー	108
グラフ テンプレート	113
ツール	114
第 4 章: OMi MP for Microsoft Active Directory のカスタマイズ	116
Microsoft Active Directory 管理 テンプレートの作成	116
Microsoft Active Directory 管理 テンプレートの編集	117
パラメータの編集	117
アスペクトの編集	119
第 5 章: デプロイメント シナリオ	120
Active Directory レプリケーションを監視するための OMi MP for Microsoft Active Directory の デプロイ	120
ADFS を使用している Active Directory サーバを監視するための OMi MP for Microsoft Active Directory のデプロイ	121
第 6 章: トラブルシューティング	122
ライセンス数が更新されない	122
Microsoft Active Directory CI が RTSM に表示されません。	123
管理 テンプレートとアスペクトが管理 対象 ノードにデプロイされない	123
Performance Manager i (PMi) グラフまたはレポートにデータが表示されない	124
パフォーマンス収集が失敗する	124
管理 対象 ノード上のバイナリの失敗	125
データ ログ ポリシーでデータをログ記録できない	125
perfmon カウンタ メトリクスを収集またはログに記録できない	125
トレース	126
第 A 章: 付 録: ログ記録のデータ ソース	127
ドキュメントのフィードバックを送信	138

第1章: OMi Management Pack for Microsoft Active Directory

Microsoft Active Directory は、会社の ID、資格情報、情報保護、システム、アプリケーション設定の管理に使用します。HP OMi Management Pack for Microsoft Active Directory (OMi MP for Microsoft Active Directory) は HP Operations Manager i (OMi) とともに動作し、ユーザ環境内で稼働する Active Directory サーバと基盤 インフラストラクチャの監視を可能にします。発生するイベントの分類と相関処理を行い、Active Directory の状況ステータスをレポートする各種インジケータ (状況インジケータ (HI)、イベントタイプインジケータ (ETI)、および相関ルール) を備えています。

OMi MP for Microsoft Active Directory は、Active Directory データベースファイル、ディレクトリ情報ツリー (DIT) のディスク容量、レプリケーション、応答時間、Domain Name System (DNS)、Windows イベントログなどのさまざまな機能を監視するための管理テンプレート、アспект、ポリシーテンプレートを備えています。管理テンプレートは、環境内の Active Directory サーバを監視する管理者がシームレスにデプロイできます。領域専門家 (SME) と開発者は、Active Directory 管理テンプレートを簡単にカスタマイズできます。

OMi MP for Microsoft Active Directory は OMi とともに動作し、以下の追加機能を提供して、統合監視ソリューションをサポートします。

- 構成アイテム (CI) ベースの開発と設定
- Active Directory インスタンスのエージェントありとなしの両面による監視を提供

第2章: 作業の開始

ここでは、OMi MP for Microsoft Active Directory を使用した Microsoft Active Directory サーバインスタンスの監視に必要なタスクについて説明します。

BSM での作業の開始

ここでは、OMi MP for Microsoft Active Directory を使用した Microsoft Active Directory サーバインスタンスの監視に必要なタスクについて説明します。


タスク 1: BSM コンソールへのノードの追加

注: ランタイム サービス モデル (RTSM) にノードがすでに存在する場合、このステップをスキップしてタスク 2 に進むことができます。

監視を始める前に、BSM コンソールにノードを追加する必要があります。以下の手順を実行します。

1. [オペレーション管理の管理] から [モニタ対象ノード] マネージャを開きます。

[管理] > [オペレーション管理] > [セットアップ] > [モニタ対象ノード]

2. [ノード ビュー] ペインで [事前定義済みのノード フィルタ] > [モニタ対象ノード] をクリックし、 をクリックしてから、[Computer] > [Windows] または [UNIX] をクリックします。[モニタ対象ノードの新規作成] ウィンドウが表示されます。
3. [プライマリ DNS 名] を指定し、[IP アドレス] を確認します。
4. ノードの [オペレーティングシステム]、[プロセッサ アーキテクチャ] をドロップダウン リストから指定し、[OK] をクリックします。

新規に作成されたノードが CI インスタンスとして RTSM に保存されます。

注: Operations Agent が稼働するノードは、OMi サーバに対して有効にしてから、証明書を付与する必要があります。

タスク 2: トポロジ同期設定の確認

注: ノードまたは CI を HP Operations Manager で監視している場合、トポロジ同期の設定を確認


することをお勧めします。

トポロジ同期設定を確認するには、以下の手順に従います。

1. [オペレーション管理の管理] から [インフラストラクチャ設定] を開きます。
[管理] > [プラットフォーム] > [セットアップと保守] > [インフラストラクチャ設定]
2. [インフラストラクチャ設定] マネージャで、[アプリケーション] > [オペレーション管理] を選択します。
3. [オペレーション管理] の [HPOMトポロジ同期設定] で、Topology Sync のパッケージにはトポロジ同期に使用するパッケージが含まれます。他の Topology Sync パッケージとともに、**default;nodegroups;operations-agent;HPOprSys;HPOprAds** があることを確認してください。

タスク 3: Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイ

Microsoft Active Directory 検出アスペクトにより、環境内の Active Directory Domain Controller CI を検出できます。追加した管理対象ノード上の Active Directory Domain Controller CI を検出するには、次の手順に従って Microsoft Active Directory 検出アスペクトをデプロイする必要があります。

1. 次の手順で [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。
[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアスペクト]
2. [構成フォルダ] ペインで、[構成フォルダ] > [Microsoft アプリケーション構成の管理] > [Microsoft Active Directory] > [アスペクト] を選択します。
3. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインで、[Microsoft AD 検出] を選択し、 [項目の割り当てとデプロイ] をクリックします。項目の [割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。
4. [構成アイテム] タブで検出アスペクトをデプロイする Windows Node CI をクリックし、[次へ] をクリックします。
5. [必要なパラメータ] タブで、[次へ] をクリックします。

注: Microsoft Active Directory 検出アスペクトには必須パラメータはありません。「この割り当てには編集が必要なパラメータはありません」という通知が表示されます。

6. [すべてのパラメータ] タブで [次へ] をクリックします。
7. オプション: 割り当てを直ちに有効化しない場合は、[割り当てオブジェクトの有効化] チェックボックスを外します。[割り当ておよび調整] ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
8. [完了] をクリックします。

注: Microsoft Active Directory 検出アスペクトをデプロイすると、「割り当ておよびデプロイメント ジョブを作成しました」というメッセージが表示されます。デプロイメント ジョブのステータスを確認するには、**[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [デプロイメント ジョブ]** を選択します。

タスク 4: 検出の確認

検出アスペクトをデプロイした後、トップビューに CI が表示されていることを確認する必要があります。トップビューの CI を表示するには、次の手順を実行します。

1. BSM コンソールで **[MyBSM]** をクリックします。
2. ドロップダウンリストから **[トップ ビュー]** を選択します。[トップ ビュー] ページが表示されます。
3. [トップ ビュー] ページで **AD_Logical_View** を選択します。トップビューに CI が表示されています。

タスク 5: Microsoft Active Directory 管理テンプレートまたは Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ

Monitoring Automation for Composite Applications ライセンスを使用している場合、Microsoft Active Directory 管理テンプレートまたは Microsoft Active Directory のアスペクトを Domain Controller CI にデプロイできます。Microsoft Active Directory 管理テンプレートのデプロイの詳細は、「[タスク 5a: Microsoft Active Directory 管理テンプレートの特 定とデプロイ](#)」を参照してください。

Monitoring Automation for Server ライセンスを使用している場合、Microsoft Active Directory のアスペクトをデプロイできます。Microsoft Active Directory アスペクトのデプロイの詳細は、「[タスク 5b: Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

タスク 5a: Microsoft Active Directory 管理テンプレートの特 定とデプロイ

CI が SiteScope や DDM などの他のソースによってすでに設定されていても、Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイは必要です。詳細については、「[タスク 3: Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

Microsoft Active Directory 管理テンプレートをデプロイする前に、次の推奨事項に従って、それぞれの環境に適した Microsoft Active Directory 管理テンプレートを特定する必要があります。

- Microsoft Active Directory サーバの可用性や基本パフォーマンスなど、Microsoft Active Directory デプロイメントの基本機能を監視するには、[基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレート](#)をデプロイします。

- Microsoft Active Directory サーバの詳細 パフォーマンスなど、Microsoft Active Directory デプロイメントの基本機能と高度な機能を監視するには、[詳細 Microsoft Active Directory 管理 テンプレート](#)をデプロイします。
- エージェントおよびエージェントレス監視を行うには、[ハイブリッド Microsoft Active Directory 管理 テンプレート](#)をデプロイします。


Microsoft Active Directory 管理テンプレートを Domain Controller CI にデプロイするには、以下の手順を実行します。

1. 次の手順で [管理テンプレートおよびアспект] ペインを開きます。


[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアспект]


2. [構成フォルダ] ペインで、次を選択します。

[構成フォルダ] > [Microsoft アプリケーション構成の管理] > [Microsoft Active Directory] > [管理テンプレート]

3. [管理テンプレートおよびアспект] ペインでデプロイする管理テンプレートをクリックし、 **[項目の割り当てとデプロイ]**を選択します。[割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。
4. **[構成アイテム]** タブで管理テンプレートを割り当てる Active Directory Domain Controller CI をクリックします。**[次へ]** をクリックします。
5. **[必要なパラメータ]** タブで、**[次へ]** をクリックします。

注: Microsoft Active Directory の管理テンプレートには必須パラメータはありません。「この割り当てには編集が必要なパラメータはありません」という通知が表示されます。

6. **[すべてのパラメータ]** タブでは、パラメータのデフォルト値を変更できます。パラメータを編集するには、以下の手順を実行します。
 - a. パラメータをダブルクリックするか、リストで選択してから  をクリックします。[パラメータの編集] ウィンドウが開きます。
 - b. デフォルト値を変更して **[OK]** をクリックします。

注: **[すべてのパラメータ]** タブでは、パラメータのデフォルト値を上書きできます。各パラメータの値は、管理テンプレート レベルで指定できます。デフォルトでは、エキスパート パラメータとして定義されているパラメータは表示されません。エキスパート パラメータを表示するには、 **[エキスパート パラメータの表示]** をクリックします。


7. **[次へ]** をクリックします。

- オプション: **[構成オプション]** タブで、割り当てを直ちに有効化しない場合は **[割り当てオブジェクトの有効化]** チェックボックスを外します。**[割り当ておよび調整]** ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
- [完了]** をクリックします。


タスク 5b: Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ

CI が SiteScope や DDM などの他のソースによってすでに設定されていても、Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイは必要です。詳細については、「[タスク 3: Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

Microsoft Active Directory のアスペクトを Domain Controller CI にデプロイするには、以下の手順を実行します。

- 次の手順で **[管理テンプレートおよびアスペクト]** ペインを開きます。
[管理] > **[オペレーション管理]** > **[モニタリング]** > **[管理テンプレートおよびアスペクト]**
- [構成フォルダ]** ペインで、**[構成フォルダ]** > **[Microsoft アプリケーション構成の管理]** > **[Microsoft Active Directory]** > **[アスペクト]** を選択します。
- [管理テンプレートおよびアスペクト]** ペインでデプロイするアスペクトを選択し、 **[項目の割り当てとデプロイ]** をクリックします。**[割り当てとデプロイ]** ウィザードが開きます。
- [構成アイテム]** タブでアスペクトを割り当てる Domain Controller CI を選択し、**[次へ]** をクリックします。
- [必要なパラメータ]** タブで、**[次へ]** をクリックします。

注: Microsoft Active Directory のアスペクトには必須パラメータはありません。「この割り当てには編集が必要なパラメータはありません」という通知が表示されます。

- [すべてのパラメータ]** タブでは、パラメータのデフォルト値を変更できます。パラメータを編集するには、以下の手順を実行します。
 - パラメータをダブルクリックするか、リストで選択してから  をクリックします。
 - [パラメータの編集]** ウィンドウが開きます。デフォルト値を変更して **[OK]** をクリックします。
- (オプション) **[構成オプション]** タブで、割り当てを直ちに有効化しない場合は **[割り当てオブジェクトの有効化]** チェックボックスを外します。**[割り当ておよび調整]** ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
- [完了]** をクリックします。

Microsoft Active Directory 環境の監視

管理テンプレートおよびアスペクトのデプロイが完了すると、次のパースペクティブからイベントを表示できます。

- [イベント パースペクティブ](#)
- [状況 パースペクティブ](#)
- [パフォーマンス パースペクティブ](#)

イベント パースペクティブ

イベント パースペクティブには、イベント パースペクティブからの完全なイベント情報が表示されます。イベント パースペクティブでは、OMi MP for Microsoft Active Directory によって監視されている Microsoft Active Directory ドメインコントローラ CI およびノード CI のイベント情報を確認できます。

Microsoft Active Directory フォレストおよび対応する CI のイベント パースペクティブを表示するには、次の手順を実行します。

1. [オペレーション管理] ペインを開きます。

[アプリケーション] > [オペレーション管理]

2. [オペレーション管理] ウィンドウで [Event Perspective] タブをクリックします。[View Explorer] ペインが表示されます。
3. [ビューの参照] タブで、イベントを表示する Active Directory フォレストと対応する CI を含む **AD_Logical_View** を選択します。または、[検索] タブを使用して Domain Controller CI を検索できます。
4. イベント パースペクティブを表示する Domain Controller CI をクリックします。[Event Browser] ペインに、選択した Domain Controller CI のイベントが表示されます。

[Event Browser] でイベントをクリックすると、[イベント詳細] ペインが開き、次の内容が表示されます。

- **一般**: 重要度、ライフサイクル状態、優先度、関連 CI など、選択したイベントに関する詳細情報が表示されます。
- **追加情報**: 選択したイベントの属性に関する詳細情報が表示されます。
- **ソース情報**: 選択したイベントのソースに関する情報の概要が表示されます。
- **アクション**: 選択したイベントで使用できるアクションのリストが表示されます。使用できるアクションには、ユーザアクションと自動アクションの2タイプがあります。
- **注釈**: 選択したイベントにアタッチされている注釈が表示されます。

- **カスタム属性:** 管理者または担当ユーザが手動で設定し、選択したイベントに追加した属性のリストが表示されます。
- **関連イベント:** Event Browser で選択したイベントに関連するすべてのイベントが表示されます。
- **履歴:** 選択したイベントの履歴が表示されます。
- **解決ヒント:** イベントに関連付けられているノードとCIを特定する情報が表示されます。
- **説明:** 関連イベントの処理に役立つ情報が表示されます。
- **転送:** イベントの所有者に関する転送の詳細情報が表示されます。

注: イベントの管理の詳細は、『Operations Manager i コンセプト・ガイド』を参照してください。

状況 パースペクティブ

状況 パースペクティブは、イベントのコンテキストで、関連 CI の全体的な状況情報を概要で表示します。状況 パースペクティブでは、OMi MP for Microsoft Active Directory によって監視されている Microsoft Active Directory ドメインコントローラ CI の状況情報を確認できます。

Microsoft Active Directory Domain Controller CI の状況 パースペクティブを表示するには、以下の手順を実行します。

1. [オペレーション管理] ペインを開きます。

[アプリケーション] > [オペレーション管理]

2. [オペレーション管理] ウィンドウで [Health Perspective] タブをクリックします。[View Explorer] ペインが表示されます。
3. [ビューの参照] タブで、状況に関連するイベントを表示する Active Directory フォレストと対応する CI を含む **AD_Logical_View** を選択します。または、[検索] タブを使用して Domain Controller CI を検索できます。
4. 状況 パースペクティブを表示する Domain Controller CI をクリックします。[Event Browser] ペインに、選択した Domain Controller CI の状況に関するイベントが表示されます。

[Event Browser] ペインからイベントをクリックすると、次のペインが表示されます。

- **Health Top View:** 選択したイベントのヘルストップビューが表示されます。
- **Health Indicators:** [Health Top View] ペインで選択した CI に関連する主要業績評価指標 (KPI) および HI が表示されます。
- **Actions:** 選択したイベントで使用できるアクションのリストが表示されます。

注: イベントの管理の詳細は、『Operations Manager i コンセプト・ガイド』を参照してください。


パフォーマンス パースペクティブ

パフォーマンス パースペクティブでは、既存のグラフ テンプレートからグラフを作成できます。また、選択した CI に必要なメトリックを選択して、カスタマイズされたグラフを作成することもできます。

Microsoft Active Directory Domain Controller CI のパフォーマンス パースペクティブをグラフで表示するには、以下の手順を実行します。

1. [オペレーション管理] ペインを開きます。

[アプリケーション] > [オペレーション管理]

2. [オペレーション管理] ウィンドウで、[Performance Perspective] タブをクリックします。[View Explorer] ペインが表示されます。
3. [ビューの参照] タブで **AD_Logical_View** を選択します。[パフォーマンス] ペインが表示され、AD_Logical_View で使用できるデフォルトのグラフが表示されます。
4. [グラフ] タブから作成するグラフをクリックし、 [グラフの作成] をクリックします。右 ペインに選択したグラフが表示されます。

注: イベントの管理の詳細は、『Operations Manager i コンセプト・ガイド』を参照してください。

OMi での作業の開始

ここでは、OMi MP for Microsoft Active Directory を使用した Microsoft Active Directory サーバインスタンスの監視に必要なタスクについて説明します。


タスク 1: OMi コンソールへのノードの追加

注: ランタイム サービス モデル (RTSM) にノードがすでに存在する場合、このステップをスキップしてタスク 2 に進むことができます。


監視を始める前に、OMi コンソールにノードを追加する必要があります。以下の手順を実行します。

1. [管理] から [モニタ対象ノード] を開きます。

[管理] > [セットアップと保守] > [モニタ対象ノード]

2. [ノード ビュー] ペインで [事前定義済みのノード フィルタ] > [モニタ対象ノード] をクリックし、 をクリックしてから、[Computer] > [Windows] または [UNIX] をクリックします。[モニタ対象ノードの新規作成] ダイアログボックスが開きます。
3. ノードの [プライマリ DNS 名]、[IP アドレス]、[オペレーティングシステム]、[プロセッサアーキテクチャ]、

およびノードの説明を指定します。リストにない IP アドレスを含めたい場合は、新しい IP アドレスを追加できます。

- a. [IP アドレス] ツールバーで  をクリックします。[新しい IP アドレスの作成] ダイアログ ボックスが開きます。
 - b. IP アドレスとルーティングドメインを入力します。
 - c. IP アドレスが DHCP サーバによって割り当てられている場合は、**[DHCP]** チェック ボックスを選択します。
 - d. **[OK]** をクリックします。
4. [モニタ対象ノード] ダイアログ ボックスで **[OK]** をクリックします。

新しく作成されたノードは、ランタイム サービス モデル (RTSM) の構成アイテム (CI) インスタンスになります。

注: HP Operations Agent が稼働するリモート管理対象ノードは、OMi サーバに対して有効にしてから、証明書を付与する必要があります。

注: Operations Agent が稼働するノードは、OMi サーバに対して有効にしてから、証明書を付与する必要があります。

タスク 2: トポロジ同期設定の確認

注: ノードまたは CI を HP Operations Manager で監視している場合、トポロジ同期の設定を確認することをお勧めします。

トポロジ同期設定を確認するには、以下の手順に従います。


1. [操作コンソールの管理] から [インフラストラクチャ設定] を開きます。
[管理] > [セットアップと保守] > [インフラストラクチャ設定]
2. [インフラストラクチャ設定] マネージャで、**[アプリケーション] > [オペレーション管理]** を選択します。
3. [オペレーション管理] の [HPOM トポロジ同期設定] で、Topology Sync のパッケージにはトポロジ同期に使用するパッケージが含まれます。他の Topology Sync パッケージとともに、**default;nodegroups;operations-agent;HPOprSys;HPOprAds** があることを確認してください。

タスク 3: Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイ

Microsoft Active Directory 検出アスペクトにより、環境内の Active Directory Domain Controller CI を検出できます。追加した管理対象ノード上の Active Directory Domain Controller CI を検出するには、次の手順に従って Microsoft Active Directory 検出アスペクトをデプロイする必要があります。

1. 次の手順で [管理 テンプレート およびアスペクト] ペインを開きます。

[管理] > [監視] > [管理 テンプレート およびアスペクト]

2. [構成フォルダ] ペインで、[構成フォルダ] > [Microsoft アプリケーション構成の管理] > [Microsoft Active Directory] > [アスペクト] を選択します。
3. [管理 テンプレート およびアスペクト] ペインで、[Microsoft AD 検出] を選択し、 [項目の割り当てとデプロイ] をクリックします。項目の [割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。
4. [構成アイテム] タブで検出アスペクトをデプロイする Windows Node CI をクリックし、[次へ] をクリックします。
5. [必要なパラメータ] タブで、[次へ] をクリックします。

注: Microsoft Active Directory 検出アスペクトには必須パラメータはありません。「この割り当てには編集が必要なパラメータはありません」という通知が表示されます。

6. [パラメータ サマリ] タブで、[次へ] をクリックします。
7. オプション: 割り当てを直ちに有効化しない場合は、[割り当ての有効化] チェックボックスを外します。[割り当ておよび調整] ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
8. [完了] をクリックします。

注: Microsoft Active Directory 検出アスペクトをデプロイすると、「割り当ておよびデプロイメント ジョブを作成しました」というメッセージが表示されます。デプロイメント ジョブのステータスを確認するには、[管理] > [監視] > [デプロイメント ジョブ] を選択します。

タスク 4: 検出の確認

検出アスペクトをデプロイした後、[360° View] に CI が表示されていることを確認する必要があります。

[360° View] に CI を表示するには、次の手順を実行します。

1. OMi コンソールで、[ワークスペース] > [ダッシュボード] > [360⁰View] をクリックします。
2. [360⁰ View] で **AD_Logical_View** ビューを選択します。[360⁰ View] に CI が表示されています。

タスク 5: Microsoft Active Directory 管理テンプレートまたは Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ

Monitoring Automation for Composite Applications ライセンスを使用している場合、Microsoft Active Directory 管理テンプレートまたは Microsoft Active Directory のアスペクトを Domain Controller CI にデプロイできます。Microsoft Active Directory 管理テンプレートのデプロイの詳細は、「[タスク 5a: Microsoft Active Directory 管理テンプレートの特 定とデプロイ](#)」を参照してください。Microsoft Active Directory アスペクトのデプロイの詳細は、「[タスク 5b: Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

Monitoring Automation for Server ライセンスを使用している場合、Microsoft Active Directory のアスペクトをデプロイできます。Microsoft Active Directory アスペクトのデプロイの詳細は、「[タスク 5b: Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

タスク 5a: Microsoft Active Directory 管理テンプレートの特 定とデプロイ

CI が SiteScope や DDM などの他のソースによってすでに設定されていても、Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイは**必要**です。詳細については、「[タスク 3: Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

Microsoft Active Directory 管理テンプレートをデプロイする前に、次の推奨事項に従って、それぞれの環境に適した Microsoft Active Directory 管理テンプレートを特定する必要があります。

- Microsoft Active Directory サーバの可用性や基本パフォーマンスなど、Microsoft Active Directory デプロイメントの基本機能を監視するには、[基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレート](#)をデプロイします。
- Microsoft Active Directory サーバの詳細パフォーマンスなど、Microsoft Active Directory デプロイメントの基本機能と高度な機能を監視するには、[詳細 Microsoft Active Directory 管理テンプレート](#)をデプロイします。
- エージェントおよびエージェントレス監視を行うには、[ハイブリッド Microsoft Active Directory 管理テンプレート](#)をデプロイします。


Microsoft Active Directory 管理テンプレートを Domain Controller CI にデプロイするには、以下の手順を実行します。

1. 次の手順で [管理 テンプレート および アスペクト] ペインを開きます。


[管理] > [監視] > [管理 テンプレート および アスペクト]


2. [構成 フォルダ] ペインで、次を選択します。

[構成 フォルダ] > [Microsoft アプリケーション 構成 の管理] > [Microsoft Active Directory] > [管理 テンプレート]

3. [管理 テンプレート および アスペクト] ペインでデプロイする管理 テンプレートをクリックし、 **[項目の割り当てとデプロイ]**を選択します。[割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。
4. **[構成 アイテム]** タブで管理 テンプレートを割り当てる Active Directory Domain Controller CI をクリックします。**[次へ]** をクリックします。
5. **[必要なパラメータ]** タブで、**[次へ]** をクリックします。

注: Microsoft Active Directory の管理 テンプレートには必須 パラメータはありません。「この割り当てには編集 が必要なパラメータはありません」という通知が表示されます。

6. **[パラメータ サマリ]** タブでは、パラメータのデフォルト 値を変更 できます。パラメータを編集 するには、以下の手順を実行 します。
 - a. パラメータをダブルクリックするか、リストで選択 してから  をクリック します。[パラメータの編集] ウィンドウが開 きます。
 - b. デフォルト 値を変更 して **[OK]** をクリック します。

注: **[パラメータ サマリ]** タブでは、パラメータのデフォルト 値を上書き できます。各パラメータの値は、管理 テンプレート レベルで指定 できます。デフォルト では、エキスパート パラメータとして定義 されているパラメータは表示 されません。エキスパート パラメータを表示 するには、 **[エキスパート パラメータの表示]** をクリック します。

7. **[次へ]** をクリック します。
8. オプション: **[構成 オプション]** タブで、割り当てを直ちに有効化 しない場合は **[割り当ての有効化]** チェック ボックスを外 します。[割り当て および 調整] ペインを使用して、後で割り当てを有効化 できます。
9. **[完了]** をクリック します。

タスク 5b: Microsoft Active Directory のアスペクト のデプロイ


CI が SiteScope や DDM などの他のソースによってすでに設定 されていても、Microsoft Active Directory 検出アスペクトのデプロイは必要 です。詳細については、[「タスク 3: Microsoft Active Directory 検出アス](#)

[ペクトのデプロイ](#)を参照してください。


Microsoft Active Directory のアスペクトを Domain Controller CI にデプロイするには、以下の手順を実行します。

1. 次の手順で [管理 テンプレート および アスペクト] ペインを開きます。

[管理] > [監視] > [管理 テンプレート および アスペクト]

2. [構成 フォルダ] ペインで、**[構成 フォルダ] > [Microsoft アプリケーション 構成 の 管理] > [Microsoft Active Directory] > [アスペクト]** を選択します。
3. [管理 テンプレート および アスペクト] ペインでデプロイするアスペクトを選択し、 **[項目の割り当てとデプロイ]** をクリックします。[割り当てとデプロイ] ウィザードが開きます。
4. **[構成 アイテム]** タブでアスペクトを割り当てる Domain Controller CI を選択し、**[次へ]** をクリックします。
5. **[必要なパラメータ]** タブで、**[次へ]** をクリックします。

注: Microsoft Active Directory のアスペクトには必須パラメータはありません。「この割り当てには編集が必要なパラメータはありません」という通知が表示されます。

6. **[パラメータ サマリ]** タブでは、パラメータのデフォルト値を変更できます。パラメータを編集するには、以下の手順を実行します。
 - a. パラメータをダブルクリックするか、リストで選択してから  をクリックします。
 - b. [パラメータの編集] ウィンドウが開きます。デフォルト値を変更して **[OK]** をクリックします。
7. オプション: **[構成 オプション]** タブで、割り当てを直ちに有効化しない場合は **[割り当ての有効化]** チェックボックスを外します。[割り当ておよび調整] ペインを使用して、後で割り当てを有効化できます。
8. **[完了]** をクリックします。

Microsoft Active Directory 環境の監視

管理 テンプレート および アスペクト のデプロイが完了すると、次のパースペクティブからイベントを表示できます。

- [イベント パースペクティブ](#)
- [状況 パースペクティブ](#)
- [パフォーマンス パースペクティブ](#)

イベント パースペクティブ

イベント パースペクティブには、イベント パースペクティブからの完全なイベント情報が表示されます。イベント パースペクティブでは、OMi MP for Microsoft Active Directory によって監視されている Microsoft Active Directory ドメインコントローラ CI およびノード CI のイベント情報を確認できます。

Microsoft Active Directory フォレストおよび対応する CI のイベント パースペクティブを表示するには、次の手順を実行します。

1. [操作コンソール] ウィンドウを開きます。

[ワークスペース] > [操作コンソール] > [Event Perspective] をクリックします。

[View Explorer] ペインが表示されます。

2. [ビューの参照] タブで、イベントを表示する Active Directory フォレストと対応する CI を含む **AD_Logical_View** を選択します。または、[検索] タブを使用して Domain Controller CI を検索できます。
3. イベント パースペクティブを表示する Domain Controller CI をクリックします。[Event Browser] ペインに、選択した Domain Controller CI のイベントが表示されます。
4. [Event Browser] ペイン内でイベントをクリックし、右クリックします。**[表示] > [イベント詳細]** を選択します。[イベント詳細] ダイアログボックスが開き、次の内容が表示されます。
 - **一般**: 重要度、ライフサイクル状態、優先度、関連 CI など、選択したイベントに関する詳細情報が表示されます。
 - **追加情報**: 選択したイベントの属性に関する詳細情報が表示されます。
 - **ソース情報**: 選択したイベントのソースに関する情報の概要が表示されます。
 - **アクション**: 選択したイベントで使用できるアクションのリストが表示されます。使用できるアクションには、ユーザアクションと自動アクションの2タイプがあります。
 - **注釈**: 選択したイベントにアタッチされている注釈が表示されます。
 - **カスタム属性**: 管理者または担当ユーザが手動で設定し、選択したイベントに追加した属性のリストが表示されます。
 - **関連イベント**: Event Browser で選択したイベントに関連するすべてのイベントが表示されます。
 - **履歴**: 選択したイベントの履歴が表示されます。
 - **解決ヒント**: イベントに関連付けられているノードと CI を特定する情報が表示されます。
 - **説明**: 関連イベントの処理に役立つ情報が表示されます。
 - **転送**: イベントの所有者に関する転送の詳細情報が表示されます。

状況 パースペクティブ

状況 パースペクティブは、イベントのコンテキストで、関連 CI の全体的な状況情報を概要で表示します。状況 パースペクティブでは、OMi MP for Microsoft Active Directory によって監視されている Microsoft

Active Directory ドメイン コントローラ CI の状況情報を確認できます。

Microsoft Active Directory Domain Controller CI の状況 パースペクティブを表示するには、以下の手順を実行します。

1. [操作コンソール] ウィンドウを開きます。

[ワークスペース] > [操作コンソール] > [Health Perspective] をクリックします。

[View Explorer] ペインが表示されます。

2. [ビューの参照] タブで、状況に関連するイベントを表示する Active Directory フォレストと対応する CI を含む **AD_Logical_View** を選択します。または、[検索] タブを使用して Domain Controller CI を検索できます。

3. 状況 パースペクティブを表示する Domain Controller CI をクリックします。[Event Browser] ペインに、選択した Domain Controller CI の状況に関するイベントが表示されます。

[Event Browser] ペインからイベントをクリックすると、次のペインが表示されます。

- **Health Top View:** 選択したイベントのヘルストップビューが表示されます。
- **Health Indicators:** [Health Top View] ペインで選択した CI に関連する主要業績評価指標 (KPI) および HI が表示されます。
- **Actions:** 選択したイベントで使用できるアクションのリストが表示されます。

パフォーマンス パースペクティブ

パフォーマンス パースペクティブでは、既存のグラフ テンプレートからグラフを作成できます。また、選択した CI に必要なメトリックを選択して、カスタマイズされたグラフを作成することもできます。

Microsoft Active Directory Domain Controller CI のパフォーマンス パースペクティブをグラフで表示するには、以下の手順を実行します。

1. [操作コンソール] ウィンドウを開きます。

[ワークスペース] > [操作コンソール] > [Performance Perspective] をクリックします。

[View Explorer] ペインが表示されます。

2. [ビューの参照] タブで **AD_Logical_View** を選択します。[パフォーマンス] ペインが表示され、AD_Logical_View で使用できるデフォルトのグラフが表示されます。

3. [グラフ] タブから作成するグラフをクリックし、 [グラフの作成] をクリックします。右ペインに選択したグラフが表示されます。

注: イベントの管理の詳細は、『Operations Manager i コンセプト・ガイド』を参照してください。

第3章: コンポーネント

OMi MP for Microsoft Active Directory には、環境内にある Microsoft Active Directory の監視を目的にした以下のコンポーネントが含まれます。

- Microsoft Active Directory 管理テンプレート
- Microsoft Active Directory のアスペクト
- パラメータ
- 構成アイテム (CI) と CI タイプ (CIT)
- ランタイム サービス モデル (RTSM) のビュー
- エンリッチメント ルール
- 状況 インジケータ (HI) と イベント タイプ インジケータ (ETI)
- トポロジ ベースのイベント 相関処理 (TBEC) ルール
- グラフ テンプレート
- Operations Orchestration (OO)
- ツール

Microsoft Active Directory 管理テンプレート

Microsoft Active Directory 管理テンプレートは、環境内にある Microsoft Active Directory サーバの可用性、状況、パフォーマンスを監視する完全な監視ソリューションです。

デフォルトでは、OMi MP for Microsoft Active Directory は管理テンプレートのセットで構成されています。管理テンプレートをデプロイして、環境内のドメインコントローラをシームレスに監視できます。Microsoft Active Directory 管理テンプレートには、環境内の Active Directory セットアップを監視するアスペクトが含まれます。監視の要件に基づいて、Microsoft Active Directory 管理テンプレートをカスタマイズすることも可能です。また、Microsoft Active Directory のアスペクトを使用して管理テンプレートを作成することも可能です。

概要

OMi MP for Microsoft Active Directory は、以下の管理テンプレートで構成されます。

- [基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレート](#)
- [詳細 Microsoft Active Directory 管理テンプレート](#)
- [ハイブリッド Microsoft Active Directory 管理テンプレート](#)

Microsoft Active Directory 管理テンプレートにアクセスする方法

1. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアスペクト] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアスペクト] をクリックします。

2. [構成フォルダ] ペインで、[構成フォルダ] > [Microsoft アプリケーション構成の管理] > [Microsoft Active Directory] > [管理テンプレート] を選択します。

タスク

Microsoft Active Directory 管理テンプレートのデプロイ方法

Microsoft Active Directory 管理テンプレートのデプロイの詳細は、BSM の場合は「[タスク 5: Microsoft Active Directory 管理テンプレートまたは Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ](#)」を、OMi の場合は「[タスク 5: Microsoft Active Directory 管理テンプレートまたは Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ](#)」を参照してください。

Microsoft Active Directory 管理テンプレートおよび Microsoft Active Directory のアスペクトを自動的に割り当てる方法


Microsoft Active Directory 管理テンプレートまたは Microsoft Active Directory のアスペクトを自動的に割り当てるには、次の手順を実行します。

1. [自動割り当てルール] を開くには、次を選択します。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [自動割り当てルール] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [自動割り当てルール] をクリックします。

自動割り当てルールには、上部に [自動割り当てルール] ペイン、下部に [パラメータ] ペインがあります。


2. [自動割り当てルール] ペインで  をクリックし、適切なオプションを選択します。[自動割り当てルールの作成] ウィザードが開きます。
3. [ターゲット ビューの選択] タブで、自動割り当てルールを作成するビューを選択し、[次へ] をクリックします。
4. [割り当てる項目の選択] タブで、すべての CI に自動割り当てする管理テンプレートまたはアスペクト

をクリックし、**[次へ]**をクリックします。

デフォルトでは、管理テンプレートまたはアスペクトの最新バージョンが選択されます。**[次へ]**をクリックします。

5. **[必要なパラメータ]** タブで、**[次へ]**をクリックします。

注: Microsoft Active Directory 管理テンプレートまたは Microsoft Active Directory のアスペクトには必須パラメータはありません。「この割り当てには編集が必要なパラメータはありません」という通知が表示されます。

6. オプション: **[すべてのパラメータ]** タブ (BSM) および **[パラメータ サマリ]** タブ (OMi) では、次の手順でパラメータのデフォルト値を変更できます。
- 編集するパラメータをダブルクリックするか、リストで選択してから  **[編集]** をクリックします。**[パラメータの編集]** ウィンドウが開きます。
 - 値を変更して、**[OK]** をクリックします。
7. **[次へ]** をクリックします。
8. オプション: **[構成オプション]** タブでは、割り当てルールをすぐにアクティブにしない場合は **[自動割り当てルールのアクティブ化]** チェックボックスをオフにします。後になって自動割り当てルールを有効にする場合は、**[管理]** > **[監視]** > **[自動割り当てルール]** を選択し、**[自動割り当てルール]** ウィンドウを開いてください。
9. **[完了]** をクリックし、変更を保存します。割り当てルールが、自動割り当てルールのリストに追加されます。

次のいずれかの条件を満たすと、OMi に送信するイベントがトリガされます。

- デプロイメント ジョブが失敗する。
- 自動割り当てが失敗する。
- 自動割り当てが成功する。この動作は、**[インフラストラクチャ設定]** で指定できます。

自動割り当てルールによって割り当てが問題なく作成されたかどうかを確認するには、次の手順を実行します。

1. 次の手順で **[割り当ておよび調整]** ペインを開きます。

BSM では、**[管理]** > **[オペレーション管理]** > **[モニタリング]** > **[割り当ておよび調整]** をクリックします。

OMi では、**[管理]** > **[監視]** > **[割り当ておよび調整]** をクリックします。

2. **[ビューの参照]** タブで、自動割り当てルールの作成に使用したビューを選択します。


3. ビューを展開し、割り当て項目のルート CI タイプを示すノードを選択します。右のペインの上に割り当てが一覧表示されます。自動割り当てルールによって作成された割り当てには、[割り当て実行者] 列に「自動割り当て」と表示されます。

割り当ては、次のオプションで調整できます。

- [自動割り当てルール] ペインでは、自動割り当てルールがトリガするすべての割り当てのパラメータ値を調整できます。
- [割り当て] ペインでは、各割り当ての再デプロイ、削除、有効化または無効化を実行できます。

Microsoft Active Directory 管理テンプレートのインベントリレポートを表示する方法

インベントリレポートには、サーバ上で利用可能な管理テンプレート、アスペクト、ポリシーテンプレートが表示されます。Microsoft Active Directory 管理テンプレートのインベントリレポートを表示するには、以下の手順を実行します。

1. レポートを作成する管理テンプレートを選択します。
2. [構成フォルダ] ペインで  [インベントリレポートの生成] をクリックします。

インベントリレポートには、サーバ上で利用可能な管理テンプレート、アスペクト、ポリシーテンプレートが表示されます。

[割り当ておよび調整] ペインでは、他のタイプのレポートも表示できます。

基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレート

基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレートは、環境内の Active Directory サーバの基本機能を監視するのに使用します。基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレートには、Microsoft Active Directory セットアップの可用性とパフォーマンスを監視する基本機能がほとんど含まれています。

Microsoft Active Directory セットアップがある環境で、Active Directory サーバの可用性をチェックし、Microsoft Active Directory の基本機能 (レプリケーション、DIT、応答時間、DNS、Windows イベント ログ) を監視するとします。このような場合、すべての Active Directory ドメインコントローラ CI に基本 Microsoft Active Directory をデプロイできます。基本 Active Directory 管理テンプレートは、これらの機能を監視する特定のアスペクトで構成されます。

注: インフラストラクチャアスペクトの使用とデプロイには、OMi Management Pack for Infrastructure ソフトウェアのインストールが必要です。

基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレートへのアクセス方法

1. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアスペクト] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアスペクト] をクリックします。

2. [構成フォルダ] ペインで、[構成フォルダ] > [Microsoft アプリケーション構成の管理] > [Microsoft Active Directory] > [管理テンプレート] > [基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレート] をクリックします。

ユーザ インターフェイスの参照情報

管理テンプレート - 一般

UI Element	Description
名前	基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレート
説明	Microsoft Active Directory の最も基本的な機能を監視します。
ID	管理テンプレートのグラフィカルユーザ インターフェイス (GUI) バージョンを一意に特定する ID。
バージョン ID	このバージョンの基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレートを一意に特定する ID。
バージョン	管理テンプレートの現在のバージョン。このインスタンスでは、管理テンプレートのバージョンは 1.0。
変更ログ	このバージョンの管理テンプレートで行われた新規追加または変更の内容を示すテキスト。

管理テンプレート - トポロジ ビュー

UI 要素	説明
トポロジ ビュー	AD_Logical_View は、基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレートのトポロジ ビューです。管理テンプレートを使用して管理を行う Microsoft Active Directory 関連 CIT が含まれます。
CI タイプ	管理テンプレートの割り当てが可能な CI のタイプ。

管理テンプレート - アスペクト

基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレートには、以下の Microsoft Active Directory のアスペクトが含まれます。

- [Microsoft AD コレクション スケジュール](#)
- [Microsoft AD DFSR パフォーマンス](#)
- [Microsoft AD ディレクトリアクセス](#)
- [Microsoft AD DIT](#)

- [Microsoft AD DNS 応答](#)
- [Microsoft AD フェデレーション サービス](#)
- [Microsoft AD FSMO 整合性](#)
- [Microsoft AD FSMO 応答時間](#)
- [Microsoft AD グローバルカタログ](#)
- [Microsoft AD レプリケーション](#)
- [Microsoft AD レプリケーション統計](#)
- [Microsoft AD 応答時間](#)
- [Microsoft AD セキュリティ](#)
- [Microsoft AD サービス](#)
- [Microsoft AD SYSVOL](#)

基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレートには、以下のインフラストラクチャアスペクトが含まれません。

システムフォールト分析

システムフォールト分析アスペクトは、クリティカルなエラー条件とその説明が記録されたカーネルログファイル、ブート ログファイル、イベント ログファイルを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_LinuxKernelLog	カーネル ログファイル /var/log/ を監視し、カーネル サービスに障害が発生した場合に警告を送信します。カーネル ログファイルで、<*> kernel:<@.service>:<*.msg> failed のパターンと一致するエラー条件をチェックします。一致するものが見つかった場合、この条件から重大度が警戒域の警告が送信されます。	ログファイルエントリテンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_LinuxBootLog	<p>ブート ログ ファイル /var/log/boot.log を監視し、システム ブート エラーが発生した場合に警告を送信します。以下の条件をチェックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • サービスの開始失敗 - ブート ログ ファイルで、<code><*></code> <code><@.service>:<@.daemon> startup failed</code> のパターンと一致するエラー条件をチェックします。一致するものが見つかった場合、この条件から重大度が警戒域の警告が送信されます。 • サービスの失敗 - ログ ファイルで、<code><*> <@.service>:<*.msg> failed</code> のパターンと一致するエラー条件をチェックします。一致するものが見つかった場合、この条件から重大度が危険域の警告が送信されます。 	ログ ファイル エントリ テンプレート
Computer	Sys_LinuxSecureLog	<p>セキュリティで保護されたログインが失敗した場合、ユーザにアラートを送信します。<code><*> sshd :Failed password for <@.user> from <*.host> port <#> ssh2</code> と一致するエラー状態がないかチェックします。一致するものが見つかった場合、この条件から重大度が注意域の警告が送信されます。</p>	ログ ファイル エントリ テンプレート
Computer	Sys_AIXErrptLog	<p>errpt ログ ファイル /var/opt/OV/tmp/sispi/errpt.log を監視し、エラー ログのエントリからエラー レポートを作成します。errpt ログ ファイルの列ごとに、<code><@.errcode></code> <code><2#.mo><2#.dd><2#.hh><2#.mm><2#.yy></code> <code><@></code> <code><@></code> <code><@.object></code> <code><*.msgtext></code> と一致するエラー状態がないかチェックします。一致するものが見つかった場合、この条件から重大度が注意域の警告が送信されます。</p>	ログ ファイル エントリ テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_ MSWindowsServer_ DNSWarnError	<p>Microsoft DNS サーバサービスと関連プロセスのログファイルを監視し、重大度が注意域またはエラーのログ エントリを転送します。このポリシーは、DNS ログ ファイルに記録された以下のエラーを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DNS サーバは、リソースレコード用にメモリを割り当てるできませんでした。 • DNS サーバは、利用可能なメモリが不足していたためクライアント要求を処理できませんでした。 • DNS サーバは、ゾーン転送スレッドを作成できませんでした。 • DNS サーバにファイル書き込みエラーが発生しました。 • DNS サーバは、リモート プロシージャコール (RPC) サービスを初期化できませんでした。 	Windows イベント ログテンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_ MSWindowsServer_ DHCPWamError	<p>このポリシー テンプレートは、動的ホスト構成プロトコル (DHCP) イベント ログを監視し、重大度が注意域またはエラーのイベント ログ エントリを転送します。このポリシーは、次のエラーを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • lashlpr が NPS サービスと通信できません。 • スcopeまたはスーパースcopeの BOOTP クライアントに使用できる IP アドレスはありません。 • DHCP サーバは NPS サーバにアクセスできないので、クライアントの NAP アクセス状態を特定できません。 • スcopeまたはスーパースcopeのリースに使用できる IP アドレスはありません。 • DHCP サービスは監査ログの初期化に失敗しました。 • ローカルコンピュータの DHCP/BINL サービスは、開始権限がないと判断しました。 • このワークグループ サーバの DHCP/BINL サービスは、IP アドレスを持つ別のサーバを検出しました。 • DHCP サービスは DHCP のレジストリ構成の復元に失敗しました。 • DHCP サービスはレジストリからグローバル BOOTP ファイル名を読み取ることができませんでした。 • アクティブなインターフェイスがないため、DHCP サービスはクライアントにサービスを提供していません。 • DHCP サーバにバインドされた静的 	Windows イベント ログテンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
		<p>IP アドレスがありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DHCP サーバサービスはサービスコントローラへの登録に失敗しました。 • DHCP サーバサービスはレジストリパラメータの初期化に失敗しました。 	
Computer	Sys_ MSWindowsServer_ NFSWarnError	<p>NFS イベント ログを監視し、重大度が注意域またはエラーのイベント ログエントリを転送します。このポリシーは、次のエラーを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ディスクの空き領域が少ないことを検出し、NFS サーバは監査の記録を停止しました。 • 監査ログが最大ファイルサイズに達しました。 • NFS 用サーバを RPC ポート マップに登録できませんでした。 • NFS サーバはフェーズ 2 の初期化中に NFS ドライバからエラーを受信しました。 	Windows イベント ログテンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_ MSWindowsServer_ TerminalServiceWarnE rror	<p>ターミナル サービスのイベント ログで、重大度が注意域またはエラーのエントリを転送します。このポリシーは、次のエラーを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none">ターミナルサーバは現在接続を受け入れないように構成されているため、接続要求が拒否されました。認証が失敗したので自動再接続は失敗し、ユーザはセッションに再接続できませんでした。ターミナル サービスの開始に失敗しました。ターミナルサーバは多数の不完全な接続を受信しました。	Windows イベント ログテンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_ MSWindowsServer_ WindowsLogonWarnError	<p>Windows ログオンと初期化のイベントログを監視し、重大度が注意域またはエラーのエラー ログ エントリを転送します。このポリシーは、Windows ログ ファイルに記録された以下のエラーを検索します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Windows のライセンスが無効です。 • Windows のライセンス認証の手続きが失敗しました。 • Windows のログオンプロセスによって、デスクトップを切り替えることができませんでした。 • Windows のログオンプロセスは予期せぬ原因により終了しました。 • Windows のログオンプロセスによって、ユーザアプリケーションを起動できませんでした。 • Windows のログオンプロセスによって、現在ログオンしているユーザのプロセスを終了できませんでした。 • Windows のログオンプロセスによって、ユーザセッションを切断できませんでした。 	Windows イベント ログテンプレート

リソース ボトルネック診断

リソース ボトルネック診断アスペクトは、CPU、メモリ、ネットワークおよびディスクなどのシステムリソースの混雑やボトルネックとなっている状態を特定します。CPU のボトルネック監視は、グローバルCPU 使用率と負荷平均 (実行キューの長さ)に基づいて行われます。メモリボトルネックの監視は、メモリ使用率、使用可能な空き容量、メモリスワップアウト率に基づいて行われます。ファイルシステムの監視は、ノード上の最もビジーなファイルシステムの領域使用率に基づいて行われます。ネットワークの監視は、パケット衝突率、パケット エラー率、送信キューの長さに基づいて行われます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_CPUBottleneckDiagnosis	<p>CPU 使用率、プロセッサ キューの長さ、システムに搭載されている CPU の総数、オペレーティングシステムに関するしきい値の超過など、CPU のボトルネックを検出します。</p> <p>キューで CPU 時間を待っているプロセス数のしきい値とともに CPU 使用率のしきい値違反があった場合は、ポリシーから警告が送信されます。メッセージには、CPU 使用率が高い上位 10 位までのプロセスの一覧も表示されます。</p>	測定値しきい値テンプレート
Computer	Sys_DiskPeakUtilMonitor	<p>システムのディスク使用率レベルを監視します。使用率レベルが最大かどうかをチェックします。</p>	測定値しきい値テンプレート
Computer	Sys_MemoryBottleneckDiagnosis	<p>物理メモリの使用率とボトルネックを監視します。メモリ使用率が高く、使用可能なメモリ容量が非常に少なくなると、メモリボトルネックの状態になります。メモリボトルネックが発生すると、システムの処理速度が低下し、全体的なパフォーマンスに影響を与えます。メモリ消費量が高いとページアウトが過剰に発生し、ページ走査率やスワップアウト バイト率、ページの要求率が高くなります。最終的には、システムの処理速度が低下します。メッセージには、メモリ使用率が高い上位 10 位までのプロセスの一覧も表示されます。</p>	測定値しきい値テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_ NetworkInterfaceErrorDiagnosis	システムのネットワーク使用率を監視し、潜在的なネットワークのボトルネックまたはエラーをチェックします。	測定値しきい値 テンプレート

システム インフラストラクチャ検出

システム インフラストラクチャ検出アスペクトは、管理対象ノードのシステムリソース、オペレーティングシステム、アプリケーションに関する情報を検出し、収集します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
Computer	OPC_PERL_ INCLUDE_ INSTR_DIR	Operations Agent の xpl config ネームスペースでの OPC_PERL_INCLUDE_INSTR_DIR の設定に使用されます。インフラストラクチャ SPI ポリシーでは値を TRUE に設定してください。	ノード情報テンプレート
	Sys_ SystemDiscovery	ハードウェアリソース、オペレーティングシステムの属性、アプリケーションなどのサービス情報を管理対象ノードから収集します。	サービス自動検出 テンプレート

詳細 Microsoft Active Directory 管理テンプレート

詳細 Microsoft Active Directory 管理テンプレートには、Microsoft Active Directory のアスペクトと、Microsoft Active Directory の可用性、パフォーマンス、状況を監視するインフラストラクチャアスペクトのセットが含まれています。詳細 Microsoft Active Directory 管理テンプレートは、Microsoft Active Directory の詳細機能を監視するのに使用します。Active Directory のデプロイメントの詳細な監視を行います。

Microsoft Active Directory セットアップがある環境で、Microsoft Active Directory のインストールと詳細機能 (応答時間、DIT、整合性、役割の移動) を詳しく監視するとします。このようなシナリオでは、詳細 Microsoft Active Directory 管理テンプレートをデプロイします。

注: インフラストラクチャアスペクトの使用とデプロイには、OMi Management Pack for Infrastructure ソフトウェアのインストールが必要です。

詳細 Microsoft Active Directory 管理テンプレートへのアクセス方法

1. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアспект] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアспект] をクリックします。

2. [構成フォルダ] ペインで、[構成フォルダ] > [Microsoft アプリケーション構成の管理] > [Microsoft Active Directory] > [管理テンプレート] > [詳細 Microsoft Active Directory 管理テンプレート] をクリックします。

ユーザ インターフェイスの参照情報

管理テンプレート - 一般

UI 要素	説明
名前	詳細 Microsoft Active Directory 管理テンプレート
説明	Microsoft Active Directory のインストールの詳細な監視を行います。
ID	管理テンプレートの GUI バージョンの管理テンプレートを一意に特定する ID。
バージョン ID	このバージョンの詳細 Microsoft Active Directory 管理テンプレートを一意に特定する ID。
バージョン	管理テンプレートの現在のバージョン。このインスタンスでは、管理テンプレートのバージョンは 1.0。
変更ログ	このバージョンの詳細 Microsoft Active Directory 管理テンプレートで行われた新規追加または変更の内容を示すテキスト。

管理テンプレート - トポロジ ビュー

UI 要素	説明
トポロジ ビュー	AD_Logical_View は、詳細 Microsoft Active Directory 管理テンプレートのトポロジ ビューです。このビューには、管理テンプレートを使用して管理する CI が含まれます。
CI タイプ	管理テンプレートの割り当てが可能な CI のタイプ。

管理テンプレート - アспект

詳細 Microsoft Active Directory 管理テンプレートは、以下の Active Directory アспектから構成されません。

- [Microsoft AD 認証](#)
- [Microsoft AD コレクション スケジュール](#)
- [Microsoft AD DFSR スループット](#)

- [Microsoft AD DFSR ボリューム](#)
- [Microsoft AD DFSR ログ](#)
- [Microsoft AD DFSR パフォーマンス](#)
- [Microsoft AD ディレクトリアクセス](#)
- [Microsoft AD ディレクトリ サービス ログ](#)
- [Microsoft AD DIT](#)
- [Microsoft AD DNS](#)
- [Microsoft AD DNS ログ](#)
- [Microsoft AD DNS レコード](#)
- [Microsoft AD DNS 応答](#)
- [Microsoft AD フェデレーション サービス ログ](#)
- [Microsoft AD フェデレーション サービス](#)
- [Microsoft AD FSMO 整合性](#)
- [Microsoft AD FSMO 応答時間](#)
- [Microsoft AD FSMO 役割の移動](#)
- [Microsoft AD グローバルカタログ](#)
- [Microsoft AD グローバルカタログアクセス](#)
- [Microsoft AD グループ ポリシー](#)
- [Microsoft AD レプリケーション](#)
- [Microsoft AD レプリケーション ログ](#)
- [Microsoft AD レプリケーション統計](#)
- [Microsoft AD 応答時間](#)
- [Microsoft AD セキュリティ](#)
- [Microsoft AD セキュリティ ログ](#)
- [Microsoft AD サービス](#)
- [Microsoft AD 構造の変更](#)

- [Microsoft AD SYSVOL](#)
- [Microsoft AD 信頼](#)

詳細 Microsoft Active Directory 管理テンプレートには、以下のインフラストラクチャアスペクトが含まれません。

空き領域とディスク IOPS

空き領域とディスク IOPS アスペクトは、システムのディスク I/O 操作と領域使用率を監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_ FileSystemUtilizationMonitor	論理ファイルシステムのディスク容量を監視します。	測定値しきい値 テンプレート
	Sys_ PerDiskAvgServiceTime-AT	ディスク I/O サービス時間を監視します。ディスク平均サービス時間は、所定の時間内に各ディスク要求の処理にディスクが費やした時間です。このポリシーでは、ノードの HP Performance Agent が必要です。	
	Sys_PerDiskUtilization-AT	ディスクのマルチ インスタンスのベースラインを決定します。ディスク使用率は、システムでディスクが要求処理中状態だった時間の割合です。このポリシーでは、ノードの HP Performance Agent が必要です。	

帯域幅使用量とネットワーク IOPS

帯域幅使用量とネットワーク IOPS アスペクトは、ネットワーク内のシステムの I/O 操作とパフォーマンスを監視します。使用中の帯域幅、送信キューの長さ、平均転送バイト数/秒に基づき、ネットワークの I/O オペレーションおよびパフォーマンスを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_ NetworkUsageAndPerformance	システムのネットワーク使用率を監視し、エラーレートと競合を表示します。これにより、ネットワークに潜在的なボトルネックがあるかどうかを判断できます。このポリシー テンプレートは、vMA マシンだけの物理 NIC を監視します。Windows オペレーティングシステムでは、BYNETIF_COLLISION メトリックを使用できないので、パケット競合に関するパフォーマンス データは監視しません。	測定値しきい値 テンプレート
	Sys_PerNetifInbyteBaseline-AT	所定の間隔でのネットワーク インターフェイスの送信バイト率を監視します。管理対象ノード上の各ネットワーク インターフェイスで発信バイト数を個別に監視します。すべての間隔でネットワーク インターフェイスの各 インスタンスを個別に処理します。	
	Sys_PerNetifOutbyteBaseline-AT	所定の間隔における個別のネットワーク インターフェイスの着信バイト レートを監視します。管理対象ノード上の各ネットワーク インターフェイスで着信バイト数を個別に監視します。すべての間隔でネットワーク インターフェイスの各 インスタンスを個別に処理します。	

CPU パフォーマンス

CPU パフォーマンス アスペクトは、CPU 使用率や CPU 使用率のスパイクなど、全体的な CPU パフォーマンスを監視します。CPU パフォーマンスの監視には、合計 CPU 使用率、ユーザモードでの CPU 使用率、システムモードでの CPU 使用率、割り込み率が使用されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_CPU SpikeCheck	プロセッサ パフォーマンスのばらつきを監視します。CPU スパイクとは、CPU 使用率が急増した直後に低減する現象です。このポリシー テンプレートは、ユーザーモードとシステムモードで消費した CPU 時間を監視します。また、CPU がビジー状態の CPU 時間の合計も監視します。	測定値しきい値 テンプレート
	Sys_GlobalCPUUtilization-AT	管理対象ノード上の CPU のパフォーマンスを監視し、すべての CPU の使用率がしきい値に違反している場合、アラートを送信します。	
	Sys_PerCPUUtilization-AT	管理対象ノード上の各 CPU の使用率を監視します。すべての間隔で各 CPU インスタンスを個別に処理します。	
	Sys_RunQueueLengthMonitor-AT	CPU の実行キューで待機するプロセスの数を監視し、実行キュー内のプロセス数がしきい値に違反している場合、アラートを送信します。	

メモリとスワップの使用量

メモリとスワップの使用量アスペクトは、システムのメモリパフォーマンスを監視します。メモリパフォーマンスの監視は、メモリ使用率 (割合)、スワップ領域使用率 (割合)、使用可能な空きメモリ (MB)、使用可能な空きスワップ領域 (MB) に基づき行われます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_ MSWindowsNonPagedPoolUtilization-AT	非ページプールのメモリを監視します。非ページプールは、ディスクが使用中ではない場合でも書き込むことができないオブジェクトのための物理システムメモリの領域です。	測定値しきい値 テンプレート
	Sys_ MSWindowsPagedPoolUtilization-AT	ページプールのメモリを監視します。ページプールは、ディスクが使用中ではない場合に書き込むことができるオブジェクトのための物理システムメモリの領域です。	
	Sys_MemoryUsageAndPerformance	システムのメモリ使用率を監視し、エラーレートと競合を表示します。これにより、メモリに潜在的なボトルネックがあるかどうかを判断できます。	
	Sys_MemoryUtilization-AT	グローバルメモリ使用率を監視します。メモリ使用率は、当該間隔における使用中の物理メモリの割合です。これには、カーネルによって占有されるシステムメモリ、バッファキャッシュ、ユーザメモリが含まれます。	

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
	Sys_SwapCapacityMonitor	システム上のスワップ領域の使用率を監視します。	
	Sys_SwapUtilization-AT	管理対象ノードでシステムによって使用されるグローバルスワップ領域を監視します。	

システム インフラストラクチャ検出

システム インフラストラクチャ検出アスペクトは、管理対象ノードのシステムリソース、オペレーティングシステム、アプリケーションに関する情報を検出し、収集します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
Computer	OPC_PERL_INCLUDE_INSTR_DIR	Operations Agent の xpl config ネームスペースでの OPC_PERL_INCLUDE_INSTR_DIR の設定に使用されます。インフラストラクチャ SPI ポリシーでは値を TRUE に設定してください。	ノード情報テンプレート
	Sys_SystemDiscovery	ハードウェアリソース、オペレーティングシステムの属性、アプリケーションなどのサービス情報を管理対象ノードから収集します。	サービス自動検出テンプレート

ハイブリッド Microsoft Active Directory 管理テンプレート

ハイブリッド Microsoft Active Directory 管理テンプレートは、Microsoft Active Directory の可用性とパフォーマンスを監視するための HP Operations エージェントおよびエージェントレス モニタで構成されます。

ハイブリッド Microsoft Active Directory 管理テンプレートへのアクセス方法

1. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアスペクト] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアスペクト] をクリックします。

2. [構成フォルダ] ペインで、[構成フォルダ] > [Microsoft アプリケーション構成の管理] > [Microsoft Active Directory] > [管理テンプレート] > [ハイブリッド Microsoft Active Directory 管理テンプレート] をクリックします。

ユーザ インターフェイスの参照情報

管理テンプレート - 一般

管理テンプレートの一般的な属性情報の概要について説明します。

UI Element	Description
名前	ハイブリッド Microsoft Active Directory 管理テンプレート
説明	Microsoft Active Directory の可用性とパフォーマンスを監視するためのエージェントおよびエージェントレス モニタで構成されます
ID	管理テンプレートの GUI バージョンの管理テンプレートを一意に特定する ID。
バージョン ID	このバージョンのハイブリッド Microsoft Active Directory 管理テンプレートを一意に特定する ID。
バージョン	管理テンプレートの現在のバージョン。このインスタンスでは、現在のバージョンは 1.0。
変更ログ	このバージョンのハイブリッド Microsoft Active Directory 管理テンプレートで行われた新規追加または変更の内容を示すテキスト。

管理テンプレート - トポロジ ビュー

UI Element	Description
トポロジ ビュー	AD_Logical_View は、ハイブリッド Microsoft Active Directory 管理テンプレートのトポロジ ビューです。このビューには、管理テンプレートを使用して管理する CI が含まれます。
CI タイプ	管理テンプレートの割り当てが可能な CI のタイプ。

管理テンプレート - アスペクト

ハイブリッド Microsoft Active Directory 管理テンプレートは、以下の Active Directory アスペクトから構成されます。

- [Microsoft AD 認証](#)
- [Microsoft AD 可用性 \(エージェントレス\)](#)
- [Microsoft AD コレクション スケジュール](#)
- [Microsoft AD DFSR スループット](#)
- [Microsoft AD DFSR パフォーマンス](#)
- [Microsoft AD ディレクトリアクセス](#)

- [Microsoft AD DIT](#)
- [Microsoft AD DNS](#)
- [Microsoft AD DNS レコード](#)
- [Microsoft AD DNS 応答](#)
- [Microsoft AD フェデレーション サービス](#)
- [Microsoft AD FSMO 整合性](#)
- [Microsoft AD FSMO 応答時間](#)
- [Microsoft AD グローバルカタログ](#)
- [Microsoft AD グループ ポリシー](#)
- [Microsoft AD レプリケーション](#)
- [Microsoft AD レプリケーション ログ](#)
- [Microsoft AD レプリケーション統計](#)
- [Microsoft AD 応答時間](#)
- [Microsoft AD セキュリティ](#)
- [Microsoft AD サービス](#)
- [Microsoft AD SYSVOL](#)
- [Microsoft AD 信頼](#)

ハイブリッド Microsoft Active Directory 管理テンプレートには、インフラストラクチャ要素を監視する以下のインフラストラクチャアスペクトが含まれます。

帯域幅使用量とネットワーク IOPS

帯域幅使用量とネットワーク IOPS アスペクトは、ネットワーク内のシステムの I/O 操作とパフォーマンスを監視します。使用中の帯域幅、送信キューの長さ、平均転送バイト数/秒に基づき、ネットワークの I/O オペレーションおよびパフォーマンスを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_ NetworkUsageAndPerformance	システムのネットワーク使用率を監視し、エラーレートと競合を表示します。これにより、ネットワークに潜在的なボトルネックがあるかどうかを判断できます。このポリシー テンプレートは、vMA マシンだけの物理 NIC を監視します。Windows オペレーティングシステムでは、BYNETIF_COLLISION メトリックを使用できないので、パケット競合に関するパフォーマンス データは監視しません。	測定値しきい値 テンプレート
	Sys_PerNetifInbyteBaseline- AT	所定の間隔でのネットワーク インターフェイスの送信バイト率を監視します。管理対象ノード上の各ネットワーク インターフェイスで発信バイト数を個別に監視します。すべての間隔でネットワーク インターフェイスの各インスタンスを個別に処理します。	
	Sys_PerNetifOutbyteBaseline- AT	所定の間隔における個別のネットワーク インターフェイスの着信バイト レートを監視します。管理対象ノード上の各ネットワーク インターフェイスで着信バイト数を個別に監視します。すべての間隔でネットワーク インターフェイスの各インスタンスを個別に処理します。	

空き領域とディスク IOPS

空き領域とディスク IOPS アスペクトは、システムのディスク I/O 操作と領域使用率を監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_ FileSystemUtilizationMonitor	論理ファイルシステムのディスク容量を監視します。	測定値しきい値 テンプレート
	Sys_ PerDiskAvgServiceTime-AT	ディスク I/O サービス時間を監視します。ディスク平均サービス時間は、所定の時間内に各ディスク要求の処理にディスクが費やした時間です。このポリシーでは、ノードの HP Performance Agent が必要です。	
	Sys_PerDiskUtilization-AT	ディスクのマルチ インスタンスのベースラインを決定します。ディスク使用率は、システムでディスクが要求処理中状態だった時間の割合です。このポリシーでは、ノードの HP Performance Agent が必要です。	

メモリとスワップの使用量

メモリとスワップの使用量アスペクトは、システムのメモリパフォーマンスを監視します。メモリパフォーマンスの監視は、メモリ使用率 (割合)、スワップ領域使用率 (割合)、使用可能な空きメモリ (MB)、使用可能な空きスワップ領域 (MB) に基づき行われます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_ MSWindowsNonPagedPoolUtilization-AT	非ページプールのメモリを監視します。非ページプールは、ディスクが使用中ではない場合でも書き込むことができないオブジェクトのための物理システムメモリの領域です。	測定値しきい値 テンプレート
	Sys_ MSWindowsPagedPoolUtilization-AT	ページプールのメモリを監視します。ページプールは、ディスクが使用中ではない場合に書き込むことができるオブジェクトのための物理システムメモリの領域です。	
	Sys_MemoryUsageAndPerformance	システムのメモリ使用率を監視し、エラーレートと競合を表示します。これにより、メモリに潜在的なボトルネックがあるかどうかを判断できます。	
	Sys_MemoryUtilization-AT	グローバルメモリ使用率を監視します。メモリ使用率は、当該間隔における使用中の物理メモリの割合です。これには、カーネルによって占有されるシステムメモリ、バッファキャッシュ、ユーザメモリが含まれます。	

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
	Sys_SwapCapacityMonitor	システム上のスワップ領域の使用率を監視します。	
	Sys_SwapUtilization-AT	管理対象ノードでシステムによって使用されるグローバルスワップ領域を監視します。	

CPU パフォーマンス

CPU パフォーマンス アスペクトは、CPU 使用率や CPU 使用率のスパイクなど、全体的な CPU パフォーマンスを監視します。CPU パフォーマンスの監視には、合計 CPU 使用率、ユーザモードでの CPU 使用率、システムモードでの CPU 使用率、割り込み率が使用されます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
Computer	Sys_CPU SpikeCheck	プロセッサ パフォーマンスのばらつきを監視します。CPU スパイクとは、CPU 使用率が急増した直後に低減する現象です。このポリシー テンプレートは、ユーザモードとシステムモードで消費した CPU 時間を監視します。また、CPU がビジー状態の CPU 時間の合計も監視します。	測定値しきい値テンプレート
	Sys_GlobalCPUUtilization-AT	管理対象ノード上の CPU のパフォーマンスを監視し、すべての CPU の使用率がしきい値に違反している場合、アラートを送信します。	
	Sys_PerCPUUtilization-AT	管理対象ノード上の各 CPU の使用率を監視します。すべての間隔で各 CPU インスタンスを個別に処理します。	
	Sys_RunQueueLengthMonitor-AT	CPU の実行キューで待機するプロセスの数を監視し、実行キュー内のプロセス数がしきい値に違反している場合、アラートを送信します。	

システム インフラストラクチャ検出

システム インフラストラクチャ検出 アスペクトは、管理対象ノードのシステムリソース、オペレーティングシス

テム、アプリケーションに関する情報を検出し、収集します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	説明	ポリシー タイプ
Computer	OPC_PERL_INCLUDE_INSTR_DIR	Operations Agent の xpl config ネームスペースでの OPC_PERL_INCLUDE_INSTR_DIR の設定に使用されます。インフラストラクチャ SPI ポリシーでは値を TRUE に設定してください。	ノード情報テンプレート
	Sys_SystemDiscovery	ハードウェアリソース、オペレーティングシステムの属性、アプリケーションなどのサービス情報を管理対象ノードから収集します。	サービス自動検出テンプレート

Microsoft Active Directory のアスペクト

Microsoft Active Directory のアスペクトは、Microsoft Active Directory サーバの可用性、状況、パフォーマンスの監視に使用します (レプリケーション、DIT ディスク領域、DNS、Windows イベント ログ)。Microsoft Active Directory のアスペクトには、ポリシー テンプレート、インストルメンテーション、Active Directory セットアップを監視するパラメータが含まれます。

Microsoft Active Directory のアスペクトにアクセスする方法

1. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアスペクト] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアスペクト] をクリックします。

2. [構成フォルダ] ペインで、[構成フォルダ] > [Microsoft アプリケーション構成の管理] > [Microsoft Active Directory] > [アスペクト] をクリックします。

ユーザインターフェイスの参照情報

全般	アスペクトの名前、説明、バージョン、ID、バージョン ID を概要で示します。
CI タイプ	アスペクトの割り当てが可能な CI のタイプ。これは、管理テンプレートの割り当てが可能な CI のタイプです。Microsoft Active Directory のアスペクトには、DomainController、DomainController Resource、DomainControllerRole CIT があります。

インストルメンテーション	検出、収集、データログのバイナリを含むシングルパッケージを提供します。
アスペクト	Microsoft Active Directory アスペクトに含まれるアスペクトの概要を提供します。
ポリシー テンプレート	Microsoft Active Directory アスペクトに含まれるポリシー テンプレートの概要を提供します。

タスク

Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ方法



Microsoft Active Directory アスペクトのデプロイの詳細は、「[タスク 5: Microsoft Active Directory 管理 テンプレートまたは Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ](#)」(BSM) および「[タスク 5: Microsoft Active Directory 管理 テンプレートまたは Microsoft Active Directory のアスペクトのデプロイ](#)」(OMi)


Microsoft Active Directory のアスペクトの作成方法

1. [管理 テンプレート および アスペクト] を開きます。


BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理 テンプレート および アスペクト] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [管理 テンプレート および アスペクト] をクリックします。


2. [構成 フォルダ] ペインで、[構成 フォルダ] > [Microsoft アプリケーション構成の管理] > [Microsoft Active Directory] > [アスペクト] をクリックします。
3. [管理 テンプレート および アスペクト] ペインで、 をクリックしてから、 [アスペクトの作成] をクリックします。[新規 アスペクトの追加] ウィンドウが開きます。
4. [全般] タブで、新規 アスペクトの名前を指定して [次へ] をクリックします。
5. [CI タイプ] タブにある [利用可能な CI タイプ] ペインで CIT を選択し、アスペクトに関連付けます。

次に、 をクリックして [割り当てられた CI タイプ] ペインに追加し、[次へ] をクリックします。


注: 複数の CIT を選択するには、[Ctrl] キーまたは [Shift] キーを使用します。

6. [インストルメンテーション] タブで  [インストルメンテーションの追加] をクリックして、インストルメンテーション カテゴリをアスペクトに追加します。[インストルメンテーションの追加] ウィンドウが開き、追加するインストルメンテーションが一覧されます。インストルメンテーションを選択して [OK] をクリックします。[次へ] をクリックします。



注: ユーザ要件に合わせてインストルメンテーションを追加できます。アスペクトにインストルメンテーションを追加しない場合は、この手順を省略できます。

7. **[アスペクト]** タブで、 **[既存アスペクトの追加]** をクリックします。既存アスペクトの追加ウィンドウが開き、アスペクト内に追加する既存アスペクトを選択できます。アスペクトをクリックし、**[OK]** をクリックします。複数のアスペクトを選択するには、**[Ctrl]** キーまたは **[Shift]** キーを使用します。**[次へ]** をクリックします。


注: アスペクト内に既存のアスペクトを追加する場合、追加するアスペクトには、既存のアスペクトの CIT または親 CIT が1つ以上存在する必要があります。

8. オプション: **[ポリシー テンプレート]** タブで、 **[ポリシー テンプレートをリストから追加]** をクリックします。**[新規ポリシー テンプレートをアスペクトに追加]** ウィンドウが開きます。追加するポリシー テンプレートを選択し、**[OK]** をクリックします。

注: 複数のポリシー テンプレートを選択するには、**[Ctrl]** キーまたは **[Shift]** キーを使用します。

9. 適切なポリシー テンプレートがない場合は、次の手順を実行して新規のポリシー テンプレートを追加します。
 - a.  をクリックしてから  **[新規ポリシー テンプレートの追加]** をクリックし、アスペクトを作成します。**[新規ポリシー テンプレートの選択]** ダイアログ ボックスが開きます。
 - b. **[タイプ]** ドロップダウン リストからポリシー テンプレートを選択して **[OK]** をクリックします。**[ポリシー 関連情報]** ダイアログ ボックスが開きます。
 - c. **[ポリシー 関連情報]** ダイアログ ボックスが開いたら、ポリシーに一意の名前を指定し、**[OK]** をクリックします。新規のポリシー テンプレートが追加されます。
10. **[次へ]** をクリックします。
11. **[パラメータ]** タブで、このアスペクトに追加したポリシー テンプレートにあるすべてのパラメータの一覧を参照できます。

パラメータを編集するには、次の手順を実行します。

- a. パラメータをダブルクリックするか、リストからパラメータを選択して、 **[編集]** をクリックします。**[パラメータの編集]** ダイアログ ボックスが開きます。
 - b. デフォルトのパラメータ値を変更して **[OK]** をクリックします。
12. **[新規アスペクトの追加]** ウィンドウで、**[完了]** をクリックしてアスペクトを保存します。新しいアスペクトが、**[管理 テンプレート および アスペクト]** ペインに表示されます。

OMi MP for Microsoft Active Directory には、次に示す Microsoft Active Directory のアスペクトが含まれます。

Microsoft AD 認証

このアスペクトは、Active Directory (AD) の認証エラーを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
domaincontroler	MSAD_SecErrGrantedAccess	なし	Errors Granted Access カウンタで、ファイルは正常に開くことができたがそれ以上のアクセスは許可されなかったアクセスの件数をチェックします。	測定値しきい値 テンプレート
domaincontroler	MSAD_SecErrorsLogon	LogonErrors: とても高い / LogonErrors: 正常域、 LogonErrors: 高 / LogonErrors: 正常域	Errors Logon で、サーバにログオンしようとして拒否された件数をチェックします。	測定値しきい値 テンプレート
domaincontroler	MSAD_AuthenticationSchetule	なし	基本認証アスペクトのスケジュールを維持します。	ConfigFile テンプレート
domaincontroler	MSAD_SecErrAccessPermissions	AccessPermissionsErrors: とても高い / AccessPermissionsErrors: 正常域、 AccessPermissionsErrors: 高 / AccessPermissionsErrors: 正常域	Errors Access Permissions で、サーバにアクセスしようとして拒否された件数をチェックします。	測定値しきい値 テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
domaincontroller	MSAD_DirComputerModif	なし	ドメイン内のコンピュータに何らかの変更がある場合、アラート メッセージを生成します。	Windows 管理 インターフェイス テンプレート
domaincontroller	MSAD_IQKerberosAuthentications	KerberosAuthenticationRate: とても高い KerberosAuthenticationRate: 高 KerberosAuthenticationRate: 正常域	Security System-Wide Statistics - Kerberos Authentications	測定値しきい値 テンプレート
domaincontroller	MSAD_NTLMAuthentications	NTLMAuthenticationRate: とても高い NTLMAuthenticationRate: 高 NTLMAuthenticationRate: 正常域	Security System-Wide Statistics - NTLM Authentications	測定値しきい値 テンプレート

Microsoft AD 可用性 (エージェントレス)

このアスペクトは、エージェントレス モニタを使用して Microsoft Active Directory サーバと DNS サーバの可用性を監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
domaincontroller Node	MSAD_DNS_Availability (:Microsoft_Active_Directory_Server_Monitor)	なし	Microsoft Active Directory DNS サーバの可用性を監視します。	SiteScope テンプレート
domaincontroller Node	MSAD_Ping_Availability (:Microsoft_Active_Directory_Server_Monitor)	なし	Microsoft Active Directory サーバの可用性を監視します。	SiteScope テンプレート

Microsoft AD コレクション スケジュール

このアスペクトには定義済みスケジュールでのコレクションのトリガに必要なスケジュール タスク ポリシーが含まれます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController、 DomainController Resource、 DomainControllerRole	MSAD_SCH_ ALL_MEDIUM	なし	Microsoft Active Directory (MSAD) のメトリックを 1 時間ごとに収集するための頻度 MEDIUM のスケジュールタスクポリシーを含みます。	スケジュールタスクテンプレート
DomainController、 DomainController Resource、 DomainControllerRole	MSAD_SCH_ ALL_VERY_ HIGH	なし	MSAD のメトリックを 5 時間ごとに収集するための頻度 VERY_HIGH のスケジュールタスクポリシーを含みます。	スケジュールタスクテンプレート
DomainController、 DomainController Resource、 DomainControllerRole	MSAD_SCH_ ALL_HIGH	なし	Microsoft Active Directory のメトリックを 5 時間ごとに収集するための頻度 HIGH のスケジュールタスクポリシーを含みます。	スケジュールタスクテンプレート
DomainController、 DomainController Resource、 DomainControllerRole	MSAD_ Collection Definition	なし	Microsoft コレクタがメトリックの収集に使用するメトリック定義の xml が含まれます。	ConfigFile テンプレート
DomainController、 DomainController Resource、 DomainControllerRole	MSAD_SCH_ ALL_LOW	なし	MSAD のメトリックを 24 時間ごとに収集するための頻度 LOW のスケジュールタスクポリシーを含みます。	スケジュールタスクテンプレート

Microsoft AD DFSR スループット

このアスペクトは、Microsoft Active Directory 分散ファイルシステムレプリケーション (DFSR) サービスのスループットを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_DFS_Total_Bytes_recev	なし	この接続で受信された合計バイト数を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_DFS_Throughput_Schedule	なし	DFSR スループットパフォーマンス統計コレクションのスケジュールを含みます。	ConfigFile テンプレート

Microsoft AD DFSR ボリューム

このアスペクトは、DFSR アクティビティのボリュームを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_DFS_USN_Journal_Accepted	なし	DFS レプリケーションサービスで処理された更新シーケンス番号 (USN) ジャーナルレコードの件数を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_DFS_Database_Lookups	なし	DFS レプリケーションサービスによって実行されたデータベースの検索処理回数を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_DFS_USN_Journal_Percentage	なし	DFS レプリケーションサービスによる読み取りと処理が行われていない USN ジャーナルの割合を監視します。	測定値しきい値テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_DFS_ Database_ Commits	なし	DFS レプリケーション サービスによって実行されたデータベースのコミット 処理回数を監視します。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_DFS_ Volume_ Schedule	なし	DFSR レプリケーション ボリュームの監視の統計情報を収集するためのスケジュールを含みます。	ConfigFile テンプレート
DomainController	MSAD_DFS_ USN_Journal_ Read	なし	DFS レプリケーション サービスで読み取った USN ジャーナルレコードの件数を監視します。	測定値しきい値 テンプレート

Microsoft AD DFSR ログ

このアスペクトは、Windows イベント ログの DFSR 関連メッセージを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_DFS_ FwdAllError	なし	重要度が「エラー」のすべてのログ エントリを転送します。	Windows イベント ログテンプレート

Microsoft AD DFSR パフォーマンス

このアスペクトは、Microsoft Active Directory DFSR のパフォーマンスを監視します。

CI タイプ!	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_DFS_ Compressed_ Size	なし	このレプリケート フォルダの受信 ファイルの圧縮 サイズ (バイト単位) を監視します。	測定値しきい値 テンプレート

CI タイプ!	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_DFS_RDC_Number_recv	なし	このレプリケートフォルダで受信したファイルの数を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_DFS_Stats_Schedule	なし	Active Directory DFSR のパフォーマンスを監視します。	ConfigFile テンプレート
DomainController	MSAD_DFS_File_Installs_retired	MSAD_DFSRFileInstRetired: とても高い / MSAD_DFSRFileInstRetired: 正常域、MSAD_DFSRFileInstRetired: 高 / MSAD_DFSRFileInstRetired: 正常域	ファイルをインストールする際に発生した共有違反などのエラーによりインストールの再試行が行われた回数を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_DFS_Conflict_Space	なし	競合して不要となったファイルおよびフォルダのうち、DFS レプリケーション サービスで使用されている競合 (削除済み) フォルダに現在存在するものの合計サイズ (バイト単位) を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_DFS_Total_Files_recv	なし	このレプリケートフォルダで受信したファイルの数を監視します。	測定値しきい値テンプレート

CI タイプ!	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_DFS_Conflict_Files	MSAD_DFSRConflictFiles: とても高い / MSAD_DFSRConflictFiles: 正常域、MSAD_DFSRConflictFiles: 高 / MSAD_DFSRConflictFiles: 正常域	このレプリケートフォルダのファイルおよびフォルダのうち、DFS レプリケーション サービスにより競合 (削除済み) フォルダに移動されたものの数を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_DFS_File_Installs_succeeded	なし	送信メンバから正常に受信され、サーバへのローカルインストールに成功したファイルの数を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_DFS_Bandwidth_Savings	なし	ネットワーク帯域幅を抑制する RDC (Remote Differential Compression) およびその他の圧縮テクノロジーを組み合わせて使用して、このレプリケートフォルダで DFS レプリケーション サービスによって節約された帯域幅の割合を監視します。	測定値しきい値テンプレート

Microsoft AD DIT

このアスペクトは、Microsoft Active Directory のディレクトリ情報 ツリー (DIT) を監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_LogFilesQueueLength	DITLogFilesDiskQueueLength: とても高い / DITLogFilesDiskQueueLength: 正常域、 DITLogFilesDiskQueueLength: 高 / DITLogFilesDiskQueueLength: 正常域	DIT ログファイル ディスクドライブ上のキューの長さを監視します。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_DITPercentFull	DITDiskSpaceAvailability: 限界に近い / DITDiskSpaceAvailability: 正常域、 DITDiskSpaceAvailability: 低 / DITDiskSpaceAvailability: 正常域	DIT ディスクドライブの空き容量を監視します。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_DITQueueLength	DITDiskQueueLength: とても高い / DITDiskQueueLength: 正常域、 DITDiskQueueLength: 高 / DITDiskQueueLength: 正常域	DIT ディスクドライブ上のキューの長さを監視します。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_LogFilesPercentFull	DITLogFilesDiskSpaceAvailability: 限界に近い / DITLogFilesDiskSpaceAvailability: 正常域、 DITLogFilesDiskSpaceAvailability: 低 / DITLogFilesDiskSpaceAvailability: 正常域	DIT ログファイル ディスクドライブの空き容量を監視します。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_TotalDitSize	なし	DIT ディスクドライブの合計空き容量 (MB) を監視します。	測定値しきい値 テンプレート

Microsoft AD ディレクトリ サービス ログ

このアスペクトは、Windows イベント ログ メッセージでディレクトリ サービス関連のログを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_ FwdAllErrorDS	なし	ディレクトリ サービス イベント ログ内の重要度がエラーのすべてのログ エントリを転送します。	Windows イベント ログ テンプレート

Microsoft AD DNS

このアスペクトは、DNS サーバの整合性およびパフォーマンスを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_DNS_ Obsolete_GUIDs	なし	ドメイン コントローラが存在するフォレスト内の、古いグローバル 意識 別子 (GUID) で登録されているホストをチェックします。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_DNS_ LogDNSPagesSec	なし	キャパシティ プランニングのグラフの作成に使用するレコードの 1 秒あたりのページ数です。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_DNS_ Island_Server	なし	ドメイン コントローラがそれ自体を DNS サーバとして使用するよう構成されているかどうかをチェックします。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_DNS_GC_ StrandedSite	なし	ドメイン コントローラが存在するフォレスト内の各サイトでグローバル カタログの存在をチェックします。	測定値しきい値 テンプレート

Microsoft AD DNS ログ

このアスペクトは、DNS 関連の Windows イベント ログを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
domaincontroller	MSAD_DNSServ_FwdAllError	なし	DNS サーバのエラーを含むすべてのログ エントリを転送します。	Windows イベント ログ テンプレート

Microsoft AD DNS レコード

このアスペクトは、ホスト リソースレコード、CName レコード、SRV レコードなどの各種 DNS レコードを確認します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_DNS_DC_A_Chk	HostRecordsAvailability: 見つかりません / HostRecordsAvailability: 見つかりました	DNS に Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) サービス用の想定されるホスト リソースレコードが含まれることを確認します。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_DNS_GC_A_Chk	なし	DNS にグローバルカタログ用の想定されるホスト リソースレコードが含まれることを確認します。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_DNS_Extra_LDAP_SRV_Chk	なし	LDAP サービス用に登録された余分な DNS SRV リソースレコードをチェックします。	測定値しきい値 テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_DNS_GC_SRV_Chk	なし	DNS に LDAP サービス用の想定される SRV リソースレコードが含まれることを確認します。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_DNS_Kerberos_SRV_Chk	KerberosSrvRecordsAvailability: 見つかりません / KerberosSrvRecordsAvailability: 見つかりました	Kerberos サービス用に登録された DNS SRV リソースレコードをチェックします。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_DNS_LDAP_SRV_Chk	LDAPSrvRecordsAvailability: 見つかりません / LDAPSrvRecordsAvailability: 見つかりました	DNS に LDAP サービス用の想定される SRV リソースレコードが含まれることを確認します。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_DNS_Extra_Kerberos_SRV_Chk	なし	Kerberos サービス用に登録された余分な DNS SRV リソースレコードをチェックします。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_DNS_Extra_GC_SRV_Chk	なし	グローバルカタログ用に登録された余分な DNS SRV リソースレコードをチェックします。	測定値しきい値 テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_DNS_DC_CNAME_Chk	CNameRecordsAvailability: 見つかりません / CNameRecordsAvailability: 見つかりました	DNS に LDAP サービス用の想定される CName リソースレコードが含まれることを確認します。	測定値しきい値テンプレート

Microsoft AD DNS 応答

このアスペクトは、DNS サーバの応答時間と DNS クエリの応答時間を監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_DNS_Server_Response	なし	DNS サーバの応答時間を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_DNS_DC_Response	DNSQueryResponse: とても高い / DNSQueryResponse: 正常域	ドメインコントローラによる DNS クエリの応答時間を秒単位で監視します。	測定値しきい値テンプレート

Microsoft AD デイレクトリアクセス

このアスペクトは、Microsoft Active Directory での LDAP のデイレクトリスループットを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_IQLDAPActiveThreads	LDAPActiveThreads: とても高い / LDAPActiveThreads: 正常域、LDAPActiveThreads: とても高い / LDAPActiveThreads: 正常域	LDAP Active Threads で、DirectoryServices オブジェクトの LDAP アクティブスレッドの数をチェックします。	測定値しきい値テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_GlobalCatalogSearches	DirectorySearchRate: とても高い / DirectorySearchRate: 正常域、DirectorySearchRate: とても高い / DirectorySearchRate: 正常域	1 秒あたりのディレクトリの検索回数を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_GlobalCatalogWrites	DirectoryWriteRate: とても高い / DirectoryWriteRate: 正常域、DirectoryWriteRate: 高 / DirectoryWriteRate: 正常域	1 秒あたりのディレクトリの書き込み回数をチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_IQLDAPClientSessions	LDAPClientSessions: とても高い / LDAPClientSessions: 正常域、LDAPClientSessions: 高 / LDAPClientSessions: 正常域	LDAP Client Sessions で、DirectoryServices オブジェクトの LDAP クライアント セッションの数をチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_IQLDAPBindTime	なし	LDAP Bind Time で、DirectoryServices オブジェクトの LDAP クライアント セッションの数をチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_GlobalCatalogReads	DirectoryReadRate: とても高い / DirectoryReadRate: 正常域、DirectoryReadRate: 高 / DirectoryReadRate: 正常域	1 秒あたりのディレクトリの読み取り回数を監視します。	測定値しきい値テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_DirectoryAccessSchedule	なし	基本 ディレクトリ アクセス アспекトのスケジュールを管理します。	ConfigFile テンプレート

Microsoft AD 検出

OMi MP for Microsoft Active Directory では、ディスカバリを拡張し、複数の階層レベルの情報が追加されます。OMi MP for Microsoft Active Directory は上位レベルのフォレストを検出し、そこから下位レベルのドメインコントローラ (DC) を名前を検出します。Microsoft Active Directory Discovery アспекトのデプロイ後、データソースが自動的に作成されます。

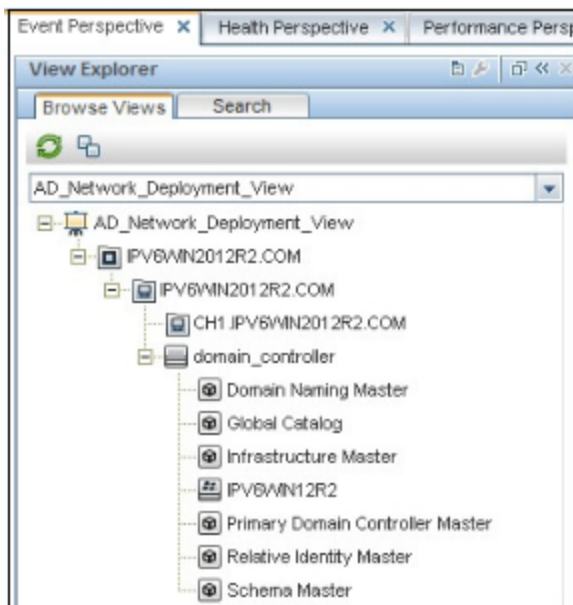
Microsoft AD 検出アспекトは、Microsoft Active Directory サーバのデプロイメントトポロジを検出し、RTSM データベースの対応する CI を読み込みます。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController、Windows	MSAD_Discovery	なし	Microsoft Active Directory トポロジを検出します。	サービス自動検出テンプレート
DomainController、Windows	MSAD_CreateDataSource	なし	Microsoft Active Directory データソースを作成します。	スケジュールタスクテンプレート

Microsoft AD ディスカバリアспекトのデプロイ時、次の Microsoft Active Directory コンポーネントが検出されます。

- Active Directory フォレスト
- Active Directory ドメイン
- 子 Active Directory ドメイン
- ドメインコントローラ
- ドメインコントローラの役割
- Windows
- インターフェイス

次の図は、Microsoft Active Directory ディスカバリのデプロイメントを示しています。



Microsoft AD FSMO 整合性

このアスペクトは、整合性の状態に基づき、レプリケーション パートナとさまざまな Flexible Single Master Operations (FSMO) の役割の整合性を監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_FSMO_Consist_PDC	なし	整合性の状態に基づき、レプリケーション パートナとプライマリ ドメイン コントローラ (PDC) マスタの整合性を監視します。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_FSMO_Consist_NAMING	なし	整合性の状態に基づき、レプリケーション パートナと名前付け マスタの整合性を監視します。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController	MSAD_FSMO_Consist_SCHEMA	なし	整合性の状態に基づき、レプリケーション パートナとスキーマ マスタの整合性を監視します。	測定値しきい値 テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_SCH_FSMOConsist	なし	FSMO 整合性チェックの収集をスケジュールします。	スケジュールタスクテンプレート
DomainController	MSAD_FSMO_Consist_INFRA	なし	整合性の状態に基づき、レプリケーションパートナーとインフラストラクチャ マスタの整合性を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_FSMO_Consist_RID	なし	整合性の状態に基づき、レプリケーションパートナーと相対識別子 (RID) マスタの整合性を監視します。	測定値しきい値テンプレート

Microsoft AD FSMO 応答時間

このアスペクトは、さまざまな FSMO の役割のバインドおよび Ping 応答時間を監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_FSMO_INFRA_Bind	なし	インフラストラクチャ FSMO のバインド応答時間を秒単位で監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_FSMO_NAMING_Bind	なし	ドメイン名前付け FSMO のバインド応答時間を秒単位で監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_FSMO_RID_Ping	なし	RID FSMO の Ping 応答時間を秒単位で監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_SCH_FSMOLogging	なし	FSMO の応答時間をログに記録します。	スケジュールタスクテンプレート
DomainController	MSAD_FSMO_INFRA_Ping	なし	インフラストラクチャ FSMO の Ping 応答時間を秒単位で監視します。	測定値しきい値テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_FSMO_PDC_Bind	なし	PDC FSMO のバインド応答時間を秒単位で監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_FSMO_RID_Bind	なし	RID FSMO のバインド応答時間を秒単位で監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_FSMO_PDC_Ping	なし	PDC FSMO の Ping 応答時間を秒単位で監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_FSMO_NAMING_Ping	なし	ドメイン名前付け FSMO の Ping 応答時間を秒単位で監視します。	測定値しきい値テンプレート

Microsoft AD FSMO 役割の移動

このアスペクトは、役割移動前の状態に関して、ドメインコントローラのみさまざまな FSMO の役割を監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_FSMO_RoleMvmt_PDC	なし	ドメインコントローラの PDC エミュレータ FSMO の役割の所有権を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_FSMO_RoleMvmt_INFRA	なし	ドメインコントローラのインフラストラクチャ マスタ FSMO の役割の所有権を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_SCH_FSMORoleMovement	なし	FSMO の応答時間をログに記録します。	スケジュールタスクテンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_FSMO_RoleMvmt_SCHEMA	なし	ドメインコントローラのスキーマ マスタ FSMO の役割の所有権を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_FSMO_RoleMvmt_NAMING	なし	ドメインコントローラのドメイン名前付け FSMO の役割の所有権を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_FSMO_RoleMvmt_RID	なし	ドメインコントローラの RID マスタ FSMO の役割の所有権を監視します。	測定値しきい値テンプレート

Microsoft AD フェデレーション サービス ログ

このアスペクトは、Windows イベント ログの Active Directory Federation Services (ADFS) 関連 ログを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_ADFS_FwdAllError	なし	重要度が「エラー」のすべてのログ エントリを転送します。	Windows イベント ログ テンプレート
DomainController	MSAD_ADFS_Security	なし	Privilege Use カテゴリのすべての「失敗」セキュリティ イベント ログ エントリを転送します。	Windows イベント ログ テンプレート

Microsoft AD フェデレーション サービス

このアスペクトは、Microsoft Active Directory フェデレーション サービスのパフォーマンスを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_ADFS_Proxy_Requests	MSAD_ProxyRequestsRate: とても高い / MSAD_ProxyRequestsRate: 正常域、 MSAD_ProxyRequestsRate: 高 / MSAD_ProxyRequestsRate: 正常域	フェデレーションサーバプロキシに送信された着信要求数を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_ADFS_Fed_Resolution_Req	MSAD_ArtifactResolutionRequestsRate: とても高い / MSAD_FederationMetadataRequestsRate: 正常域、 MSAD_ArtifactResolutionRequestsRate: 高 / MSAD_ArtifactResolutionRequestsRate: 正常域	フェデレーションサーバに送信される 1 秒あたりのアーティファクト解決エンドポイントへの要求数を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_ADFS_Proxy_MEX_Requests	MSAD_ProxyMEXRequestsRate: とても高い / MSAD_ProxyMEXRequestsRate: 正常域、 MSAD_ProxyMEXRequestsRate: 高 / MSAD_ProxyMEXRequestsRate: 正常域	フェデレーションサーバに送信された着信フェデレーションメタデータ要求数を監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_ADFS_Schedule	なし	ADFS の監視スケジュールを管理します。	ConfigFile テンプレート
DomainController	MSAD_ADFS_Token_Requests	MSAD_TokenRequestRate: とても高い MSAD_TokenRequestRate: 高 MSAD_TokenRequestRate: 正常域	フェデレーションサーバプロキシに送信されたトークン要求数を監視します。	測定値しきい値テンプレート

Microsoft AD グローバル カタログ

このアスペクトは、グローバル カタログ (GC) のステータスおよびレプリケーション整合性を監視することで、グローバル カタログを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController、 DomainControllerRole	MSAD_ GCMonitorStatus	GCConnectivity: ダウン/ GCConnectivity: アップ	Active Directory での GC クエリス テータスを監視し ます。	測定値しきい値 テンプレート
DomainController、 DomainControllerRole	MSAD_SCH_ GCCheckStatus	なし	Active Directory での GC クエリス テータスをチェック します。	スケジュールタス クテンプレート

Microsoft AD グローバルカタログアクセス

このアスペクトは、Microsoft Active Directory のグローバルカタログのアクセス パラメータ (読み取り、書き込み、検索) を監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController、 DomainControllerRole	MSAD_GC_Schedule	なし	基本認証アス ペクトのスケ ジュールを維持 します。	ConfigFile テン プレート
DomainController、 DomainControllerRole	MSAD_GC_ GlobalCatalogWrites	なし	1 秒あたりのディ レクトリ書き込 み回数を監視 します。	測定値しきい 値テンプレート
DomainController、 DomainControllerRole	MSAD_GC_ GlobalCatalogReads	なし	1 秒あたりのディ レクトリの読み 取り回数を監 視します。	測定値しきい 値テンプレート
DomainController、 DomainControllerRole	MSAD_GC_ GlobalCatalogSearches	なし	1 秒あたりのディ レクトリの検索 回数を監視し ます。	測定値しきい 値テンプレート

Microsoft AD グループ ポリシー

このアスペクトは、Active Directory のグループ ポリシー オブジェクトを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_SCH_GroupPolicy	なし	リンクなし、無効、および孤立状態のポリシーを監視します。	スケジュールタスクテンプレート
DomainController	MSAD_GPO_MessagePolicy	なし	グループポリシーメッセージをインターセプトします。	Windows 管理インターフェイステンプレート

Microsoft AD レプリケーション

このアスペクトは、サイト間およびサイト内のレプリケーションを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
domaincontroller	MSAD_SCH_RepModifyObj	なし	レプリケーションオブジェクトの変更をスケジュールします。	スケジュールタスクテンプレート
domaincontroller	MSAD_SCH_TimeSync	なし	時刻マスタとの同期を検証します。	スケジュールタスクテンプレート
domaincontroller	MSAD_Rep_MonitorIntraSiteReplication	IntraSiteReplicationLatency: とても高い / IntraSiteReplicationLatency: 正常域、IntraSiteReplicationLatency: 高 / IntraSiteReplicationLatency: 正常域	Active Directory のサイト内レプリケーションを監視します。	測定値しきい値テンプレート
domaincontroller	MSAD_SCH_RepModifyUserObj	なし	レプリケーションユーザオブジェクトの変更をスケジュールします。	スケジュールタスクテンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
domaincontroller	MSAD_SCH_IntraSiteReplication	なし	Microsoft Active Directory (MSAD) の Active Directory 内で、サイト内レプリケーションを監視します。	スケジュールタスクテンプレート
domaincontroller	MSAD_Rep_TimeSync	なし	時刻マスタとの同期を検証します。	測定値しきい値テンプレート
domaincontroller	MSAD_SCH_DeIOVRepObj	なし	レプリケーションオブジェクトの削除をスケジュールします。	スケジュールタスクテンプレート
domaincontroller	MSAD_Rep_MonitorInterSiteReplication	InterSiteReplicationLatency: とても高い / InterSiteReplicationLatency: 正常域、InterSiteReplicationLatency: 高 / InterSiteReplicationLatency: 正常域	Active Directory のサイト間レプリケーションを監視します。	測定値しきい値テンプレート
domaincontroller	MSAD_SCH_InterSiteReplication	なし	MSAD の Active Directory 内で、サイト間レプリケーションを監視します。	スケジュールタスクテンプレート

Microsoft AD レプリケーション自動ベースライン

このアスペクトはレプリケーションを監視するポリシーで構成され、自動しきい値機能を使用してしきい値の計算および格納を行います。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_Rep_GC_Check_and_Threshold_Monitor_AT	なし	グローバルカタログのレプリケーション待ち時間のしきい値を超えた場合に、アラートの計算、格納、生成を行う自動しきい値ポリシーです。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_Rep_TimeSync_Monitor_AT	なし	時刻 マスタとの同期を秒単位で検証します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_Rep_InboundObjects_AT	なし	入力方向のレプリケーション オブジェクトの数を監視します。	測定値しきい値テンプレート

Microsoft AD レプリケーション ログ

このアスペクトは、Windows イベント ログのレプリケーション関連メッセージを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_FwdAllErrorFRS	なし	ファイル複製 サービス ログで重要度が「エラー」であるすべてのログ エントリを転送します。	Windows イベント ログ テンプレート
DomainController	MSAD_ReplicationActivities	なし	レプリケーション開始および終了のログをチェックします。	Windows イベント ログ テンプレート

Microsoft AD レプリケーション統計

このアスペクトは、Microsoft Active Directory のレプリケーション統計を監視します。サイト間およびサイト内のレプリケーションの両方を対象とします。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_ADReplInBoundBytesBetweenSites	PendingReplicationSyncronizations: とても高い / PendingReplicationSyncronizations: 正常域、PendingReplicationSyncronizations: 高 / PendingReplicationSyncronizations: 正常域	DirectoryServices オブジェクトの Inbound Bytes Between Sites カウンタをチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_ADSPendingSynchronizations	PendingReplicationSyncronizations: とても高い / PendingReplicationSyncronizations: 正常域、PendingReplicationSyncronizations: 高 / PendingReplicationSyncronizations: 正常域	DRA Pending Replication Synchronizations カウンタで、DirectoryServices オブジェクトの保留中のレプリケーション同期数をチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_ADReplInBoundObjectUpdatesRemaining	InboundObjectUpdatesRemaining: とても高い / InboundObjectUpdatesRemaining: 正常域、InboundObjectUpdatesRemaining: 高 / InboundObjectUpdatesRemaining: 正常域	DRA Inbound Object Updates Remaining in Packet で残っているオブジェクトの数をチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_Rep_InboundObjs	InboundReplicationObjectRate: とても高い / InboundReplicationObjectRate: 正常域、InboundReplicationObjectRate: 高 / InboundReplicationObjectRate: 正常域	入力方向のレプリケーション オブジェクトの数を監視します。	測定値しきい値テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_ADReplInBoundBytesWithinSites	PendingReplicationSynchronizations: とても高い / PendingReplicationSynchronizations: 正常域、PendingReplicationSynchronizations: 高 / PendingReplicationSynchronizations: 正常域	DRA Inbound Bytes Not Compressed カウンタで、Directory Services オブジェクトのサイト内での 1 秒あたりのバイト数をチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_ReplicationSchedule	なし	レプリケーション アスペクトのスケジュールを管理します。	ConfigFile テンプレート

Microsoft AD 応答時間

このアスペクトは、LDAP および GC クエリの応答時間を監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_ResponseTimeGCBind	GCLDAPBindResponseTime: とても高い / GCLDAPBindResponseTime: 正常域、GCLDAPBindResponseTime: 高 / GCLDAPBindResponseTime: 正常域	ドメイン コントローラでのグローバルカタログのバインド 応答時間を秒単位で監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_SCH_ResponseLogging	なし	Active Directory 応答時間をログに記録します。	スケジュールタスクテンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_ResponseTimeQuery	DCLDAPQueryResponse Time: とても高い / GCLDAPQueryResponse Time: 正常域、GCLDAPQueryResponse Time: 高 / GCLDAPQueryResponse Time: 正常域	ドメインコントローラに対するクエリの応答時間を秒単位で監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_ResponseTimeGCQuery	ResponseTime: とても高い / ResponseTime: 正常域、ResponseTime: 高 / ResponseTime: 正常域	ドメインコントローラのグローバルカタログに対するクエリの応答時間を秒単位で監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_SCH_LDAPStatus	なし	Active Directory での LDAP クエリステータスをチェックします。	スケジュールタスクテンプレート
DomainController	MSAD_ResponseTimeBind	DCLDAPBindResponseTime: とても高い / DCLDAPBindResponseTime: 正常域、DCLDAPBindResponseTime: 高 / DCLDAPBindResponseTime: 正常域	ドメインコントローラのバインド応答時間を秒単位で監視します。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_LDAPCheckStatus	LDAPConnectivity: ダウン / LDAPConnectivity: アップ	Active Directory での LDAP クエリステータスを監視します。	測定値しきい値テンプレート

Microsoft AD SYSVOL

このアスペクトは、Microsoft Active Directory のシステム ボリューム (SYS VOL) 機能を監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
domaincontroller	MSAD_Sysvol_AD_Sync	なし	Sysvol と Active Directory のグループ ポリシー オブジェクトが同期しているかどうかをチェックします。	測定値しきい値テンプレート
domaincontroller	MSAD_SYSVOL_DiskQueueLength	SysvolDiskQueueLength: とても高い / SysvolDiskQueueLength: 正常域、 SysvolDiskQueueLength: 高 / SysvolDiskQueueLength: 正常域	SYSVOL ディスクドライブのキューの長さを監視します。	測定値しきい値テンプレート
domaincontroller	MSAD_MonitorsSYSVol	SysvolConnectivity: ダウン / EventTypeIndicator SysvolConnectivity: 正常域	ドメインコントローラに対するクエリの応答時間を秒単位で監視します。	測定値しきい値テンプレート
domaincontroller	MSAD_SCH_SYSVOIConnectivity	なし	Active Directory での LDAP クエリステータスをチェックします。	スケジュールタスクテンプレート
domaincontroller	MSAD_SYSVOL_PercentFull	SysvolDiskSpaceAvailability: 限界に近い / SysvolDiskSpaceAvailability: 正常域、 SysvolDiskSpaceAvailability: 低 / SysvolDiskSpaceAvailability: 正常域	Sysvol ディスクドライブの空き領域のサイズを、使用領域の割合という点から監視します。	測定値しきい値テンプレート

Microsoft AD セキュリティ

このアスペクトは、Microsoft Active Directory のセキュリティアスペクトを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
domaincontroller	MSAD_SecNonTransMemEval	NonTransitiveMembershipEvaluations: とても高い/ NonTransitiveMembershipEvaluations: 正常域、 NonTransitiveMembershipEvaluations: 高 / NonTransitiveMembershipEvaluations: 正常域	SAM Non-Transitive Membership Evaluation/sec カウンタで、DirectoryServices オブジェクトの1秒あたりのSAM 非推移的メンバシップ評価数カウンタをチェックします。	測定値しきい値テンプレート
domaincontroller	MSAD_SecSDPropagatorQueue	SecurityDescriptorPropagatorQueue: とても高い/ SecurityDescriptorPropagatorQueue: 正常域、 SecurityDescriptorPropagatorQueue: 高 / SecurityDescriptorPropagatorQueue: 正常域	DS Security Descriptor Propagator Run-time Queue で、現在のディレクトリサービスのセキュリティ記述子伝達子イベントを処理する一方、調査対象の残りのオブジェクト数をチェックします。	測定値しきい値テンプレート
domaincontroller	MSAD_Security	なし	基本セキュリティアスペクトのスケジュールを管理します。	ConfigFile テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
domaincontroller	MSAD_SecTransMembEval	TransitiveMembershipEvaluations: とても高い / TransitiveMembershipEvaluations: 正常域、 TransitiveMembershipEvaluations: 高 / TransitiveMembershipEvaluations: 正常域	SAM Transitive Membership Evaluations で、1 秒あたりの SAM 推移的メンバシップ評価数をチェックします。	測定値しきい値テンプレート

Microsoft AD セキュリティ ログ

このアスペクトは、Windows イベント ログのセキュリティ イベントを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_SecDirectoryServiceAccess	なし	Directory Service Access カテゴリのすべての「失敗」セキュリティ イベント ログ エントリを転送します。	Windows イベント ログ テンプレート
DomainController	MSAD_SecAdminGroupChangeMonitor	なし	セキュリティ管理グループの変更を監視します。	Windows イベント ログ テンプレート
DomainController	MSAD_KDCFailureGrantTicket	なし	チケットの付与に失敗した場合にアラートを発行します。	Windows イベント ログ テンプレート
DomainController	MSAD_PrivilagedAccount	なし	チケット付与の失敗	Windows イベント ログ テンプレート

Microsoft AD サービス

このアスペクトは、Microsoft Active Directory のコア サービスを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_HMNTFRSPageFaults	NTFRSPageFaultsRate: とても高い / NTFRSPageFaultsRate: 正常域、 NTFRSPageFaultsRate: 高 / NTFRSPageFaultsRate: 正常域	NTFRS プロセスの 1 秒あたりのページフォールト数をチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_Rep_ISM_Chk	ISMServiceStatus: ダウン / ISMServiceStatus: アップ	サイト間レプリケーションサービスの状態をチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_HMNTFRSPrivateBytes	NTFRSPrivateBytes: とても高い / NTFRSPageFaultsRate: 正常域、 NTFRSPrivateBytes: 高 / NTFRSPageFaultsRate: 正常域	NTFRS プロセスの Private Bytes カウンタをチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_HMLSASSProcessorTime	LSASSProcessorTime: とても高い / LSASSProcessorTime: 正常域、 LSASSProcessorTime: 高 / LSASSProcessorTime: 正常域	Local Security Authority Subsystem Service (LSASS) プロセスが消費しているプロセス時間の割合をチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_NTFRS_Chk	NTFRSServiceState: ダウン / NTFRSServiceState: アップ	NTFRS ログオンサービスの状態をチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_KDC_Chk	NetLogonServiceState: ダウン / NetLogonServiceState: アップ	Kerberos Key Distribution Center サービスの状態をチェックします。	測定値しきい値テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_DFSR_Chk	DFSRServiceState: ダウン / DFSRServiceState: アップ	DSFR サービスの状態をチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_HMNTFRSWorkingSet	NTFRSWorkingSet: とても高い / NTFRSWorkingSet: 正常域、 NTFRSWorkingSet: 高 / NTFRSWorkingSet: 正常域	NTFRS プロセスの Working Set カウンタをチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_HMNTFRSProcessorTime	NTFRSProcessorTime: とても高い / NTFRSProcessorTime: 正常域、 NTFRSProcessorTime: 高 / NTFRSProcessorTime: 正常域	NTFRS プロセスが消費しているプロセッサ時間の割合をチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_NTDS_Chk	NetLogonServiceState: ダウン / NetLogonServiceState: アップ	NTDS ログオンサービスの状態をチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_EssentialSvcSchedule	なし	基本サービスアспектのスケジュールを管理します。	ConfigFile テンプレート
DomainController	MSAD_HMLSASSWorkingSet	LSASSWorkingSet: とても高い / LSASSWorkingSet: 正常域、 LSASSWorkingSet: 高 / LSASSWorkingSet: 正常域	LSASS プロセスの Working Set カウンタをチェックします。	測定値しきい値テンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_NetLogon_Chk	NetLogonServiceState: ダウン / NetLogonServiceState: アップ	Net ログオンサービスの状態をチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_SAMSS_Chk	SamSsServiceState: ダウン / SamSsServiceState: アップ	Security Accounts Manager Service (SAMSS) ログオンサービスの状態をチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_HMLSASSPageFaults	LSASSPageFaultsRate: とても高い / LSASSPageFaultsRate: 正常域、LSASSPageFaultsRate: 高 / LSASSPageFaultsRate: 正常域	LSASS の 1 秒あたりのページフォールト数をチェックします。	測定値しきい値テンプレート
DomainController	MSAD_HMLSASSPrivateBytes	LSASSPrivateBytes: とても高い / LSASSPageFaultsRate: 正常域、LSASSPrivateBytes: 高 / LSASSPageFaultsRate: 正常域	LSASS プロセスの Private Bytes カウンタをチェックします。	測定値しきい値テンプレート

Microsoft AD 構造の変更

このアスペクトは、Active Directory のサイト、ドメイン、組織単位の変更を監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_DomainChanges	なし	ドメインの変更を追跡します。	Windows 管理インターフェイステンプレート
DomainController	MSAD_OUChanges	なし	組織単位の変更を追跡します。	Windows 管理インターフェイステンプレート

Microsoft AD 信頼

このアスペクトは、Active Directory の信頼関係の変更を監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_Trust_Mon_Add_Del	なし	Active Directory の信頼関係の変更を監視します (Windows 2003ドメインコントローラのみ) (信頼関係の追加および削除)。	Windows 管理インターフェイステンプレート

Microsoft AD イベント ログ

このアスペクトは、Windows イベント ログで Active Directory に関連する一般的なログメッセージを監視します。

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_FwdAllInformationFRS	なし	ファイル複製サービスログで重要度が「情報」であるすべてのログエントリを転送します。	Windows イベント ログテンプレート
DomainController	MSAD_DNSServ_FwdAllWarn	なし	DNS サーバの警告を含むすべてのログエントリを転送します。	Windows イベント ログテンプレート
DomainController	MSAD_FwdAllWarnDS	なし	ディレクトリサービス イベント ログで重要度が「エラー」および「警告」であるすべてのログエントリを転送します。	Windows イベント ログテンプレート
DomainController	MSAD_FwdAllWarnFRS	なし	ファイル複製サービスログで重要度レベルが「警告」であるすべてのログエントリを転送します。	Windows イベント ログテンプレート

CI タイプ	ポリシー テンプレート	インジケータ	説明	ポリシー タイプ
DomainController	MSAD_ FwdAllInformationDS	なし	ディレクトリ サービス イベント ログで重要度レベルが「情報」であるすべてのログ エントリを転送します。	Windows イベント ログ テンプレート
DomainController	MSAD_DNSServ_ FwdAllInformation	なし	「情報」を含むすべてのログ エントリを転送します。	Windows イベント ログ テンプレート

パラメータ

パラメータは、Microsoft Active Directory 管理 テンプレート、アスペクト、ポリシー テンプレートに不可欠な変数です。各パラメータは1つの変数に対応します。パラメータにはデフォルト値が設定され、Microsoft Active Directory デプロイメントの各種コンポーネントの監視に使用されます。また、監視要件に合うように変数の値を変更することもできます。

Microsoft Active Directory のパラメータ

OMi MP for Microsoft Active Directory には、SME と管理者が使用するエキスパート パラメータが含まれています。

OMi MP for Microsoft Active Directory パラメータ

OMi MP for Microsoft Active Directory には、以下のパラメータが含まれます。

パラメータ	説明	デフォルト値
High スケジューラの頻度	短い間隔で実行されるスケジューラの頻度 (分)。	15
Low スケジューラの頻度	長い間隔で実行されるスケジューラの頻度 (時間)。	24
Medium スケジューラの頻度	中程度の間隔で実行されるスケジューラの頻度 (時間)。	1
VeryHigh スケジューラの頻度	極めて短い間隔で実行されるスケジューラの頻度 (分)。	5

パラメータの調整



この項では、CI にデプロイ済みの Microsoft Active Directory 管理テンプレートとアスペクトのパラメータの編集についての詳細について説明します。

パラメータを編集するには、以下の手順を実行します。

1. 次の手順で [割り当ておよび調整] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [割り当ておよび調整] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [割り当ておよび調整] をクリックします。

2. [ビューの参照] タブで、パラメータを調整する CI を含む **AD_Logical_View** を選択します。または、[検索] タブで CI を見つけます。
3. CI のリストで、CI をクリックします。[割り当て詳細] ペインに、現在のパラメータ値が表示されます。
4. [割り当て詳細] ペイン内のパラメータのデフォルト値を変更するには、次の手順を実行します。
 - a.  をクリックします。[パラメータの編集] ウィンドウが開きます。
 - b. 変更するパラメータを選択し、 をクリックします。[パラメータの編集] ウィンドウが開きます。
 - c. 値を変更して、[OK] をクリックします。新しいパラメータ値が関連する CI にデプロイされます。

構成アイテム (CI) と CI タイプ (CIT)

CI は、IT サービスを配信するために管理する必要のあるコンポーネントです。CI には、IT サービス、ハードウェア、ソフトウェアなどが含まれます。CIT は、CI のタイプと属性を示します。環境内で検出された Microsoft Active Directory CI は、CIT にグループ分けされます。OMi MP for Microsoft Active Directory には、以下の CIT が含まれます。

- Windows
- DomainController
- DomainControllerRole

ランタイム サービス モデル (RTSM) のビュー

ビューは、イベントのコンテキストを可視化する機能です。一般的なビューでは Active Directory CI と他の近隣 CI との関係が表示されます。ビューを使用して、Microsoft Active Directory 環境のトポロジを表示できます。また、ビューにより、次のことも可能です。

- Microsoft Active Directory Domain Controller CI のイベント パースペクティブの管理
- Microsoft Active Directory Domain Controller CI の状況 パースペクティブの管理
- 管理テンプレート、アспект、ポリシー テンプレートの割り当ておよび調整

RTSM ビューにアクセスする方法

1. [モデリングスタジオ] ペインを開きます。

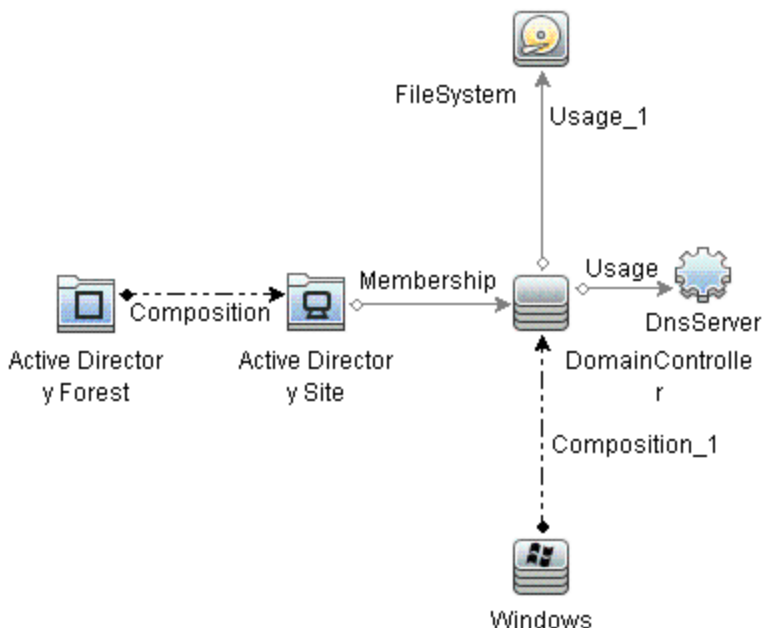
BSM では、[管理] > [RTSM 管理] > [モデリング] > [モデリング スタジオ] をクリックします。

OMi では、[管理] > [RTSM 管理] > [モデリング] > [モデリング スタジオ] をクリックします。

2. ビューでリソース タイプをクリックします。
3. リストから [オペレーション管理] > [Active Directory] を選択します。

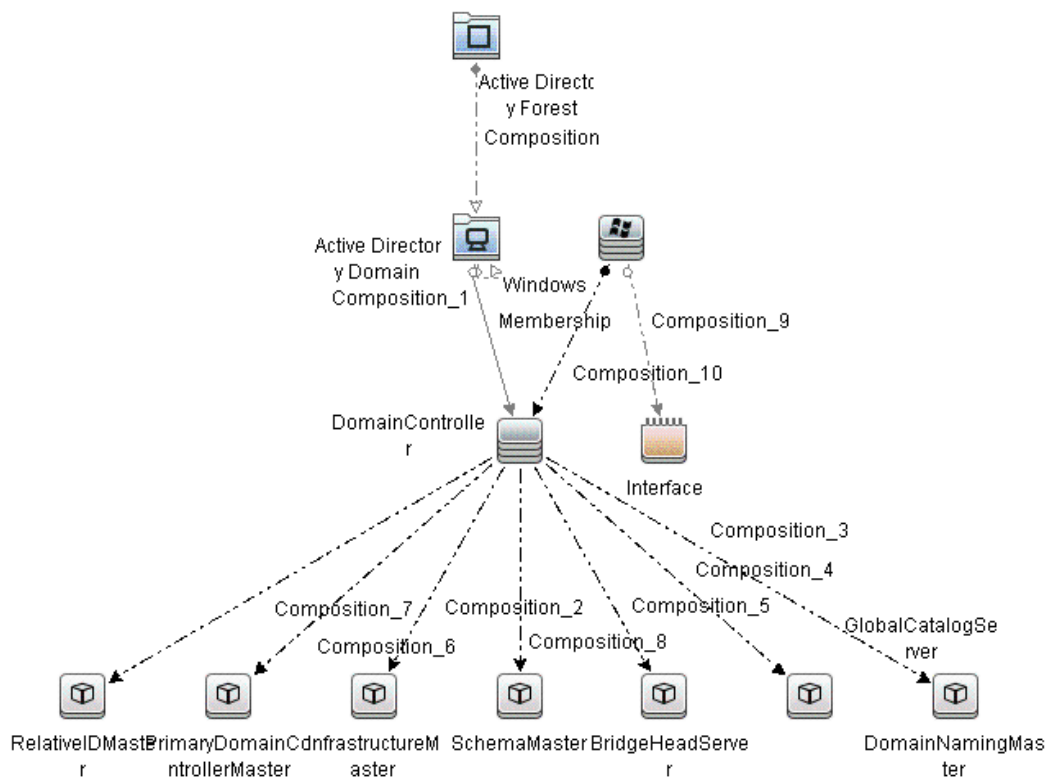
OMi MP for Microsoft Active Directory では、次のビューを使用できます。

- **AD_Physical_View:** このビューでは、Active Directory System、Active Directory Site、Domain Controller、Domain Naming Master、Computer (Windows) の各 CIT などさまざまなコンポーネントを表示します。AD_Physical_View では、Active Directory サイトとドメインコントローラの間連を表示できます。次の図は上記の CIT の関係を示します。

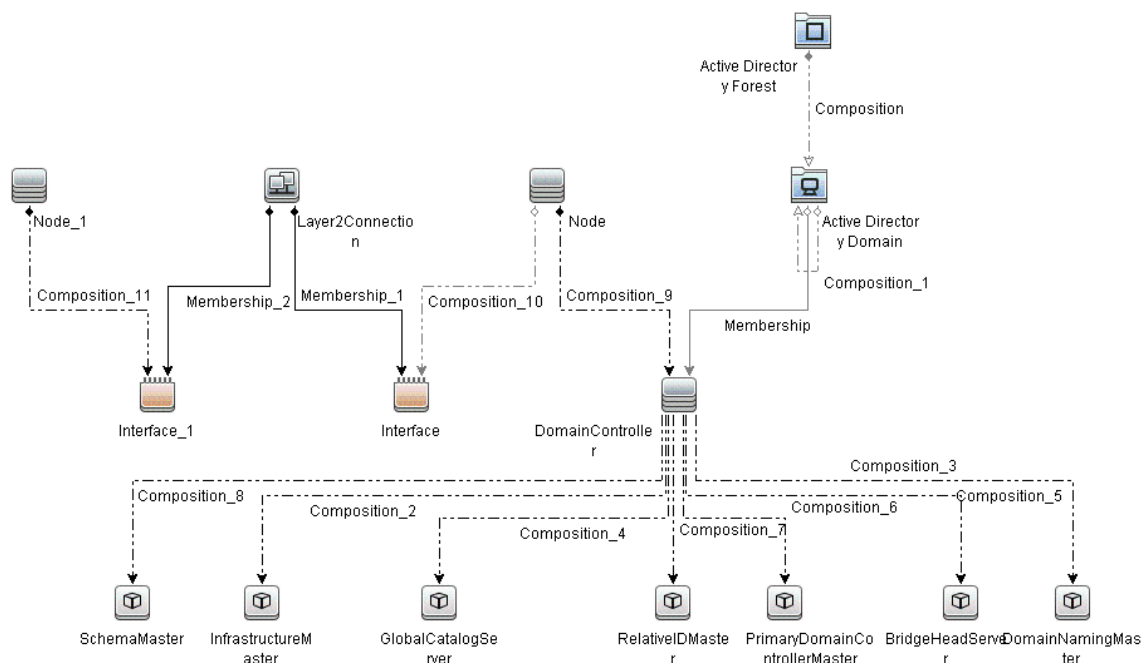


- **AD_Logical_view:** このビューでは、Active Directory System、Active Directory Forest、Active

Directory Domain、Domain Controller、Schema Master、Domain Naming Master、Primary Domain Controller Master、Relative ID Master、Infrastructure Master、Bridge Head Server、Global Catalog Server、Computer の各 CIT などさまざまなコンポーネントを表示します。AD_Logical_View では、Active Directory サーバの各種コンポーネントのほか、役割、ドメインおよびドメインコントローラとの関連を表示できます。次の図は上記の CIT の関係を示します。



- **AD_Network_Deployment_View:** このビューでは、Active Directory System、Active Directory Forest、Active Directory Domain、Domain Controller、Schema Master、Domain Naming Master、Primary Domain Controller Master、Relative ID Master、Infrastructure Master、Bridge Head Server、Global Catalog Server、Node の各 CIT などさまざまなコンポーネントを表示します。AD_Network_Deployment_View では、環境内の監視対象 Active Directory ドメインコントローラ CI のほか、関連するネットワークのコンポーネントを表示できます。次の図は上記の CIT の関係を示します。



エンリッチメント ルール

エンリッチメント ルールは、次のような目的に使用します。

- 新しい CI と RTSM との関係の追加
- 特定の CI のインスタンスを RTSM から削除
- RTSM にある特定の CI のインスタンスの属性値の更新

エンリッチメント ルールにアクセスする方法

1. [エンリッチメント マネージャ] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [RTSM 管理] > [モデリング] > [エンリッチメント マネージャ] をクリックします。

OMi では、[管理] > [RTSM 管理] > [モデリング] > [エンリッチメント マネージャ] をクリックします。

2. [エンリッチメント ルール] リスト ペインから [オペレーション管理] > [Active Directory] を選択します。

OMi MP for Microsoft Active Directory には、次のエンリッチメント ルールが含まれています。

- DomainController_Uses_DnsServer - ドメイン コントローラの DnsServer にバインド
- DomainController_Uses_Log_FileSystem - ドメイン コントローラの Log FileSystem にバインド

- DomainController_Uses_NTDS_FileSystem - ドメイン コントローラの NTDS FileSystem にバインド
- DomainController_Uses_SysVol_FileSystem - ドメイン コントローラの SysVol FileSystem にバインド

状況インジケータ (HI) とイベント タイプ インジケータ (ETI)

HI は、Active Directory サーバの状況を報告します。ETI は、発生するイベントのタイプに基づいて分類されます。

ドメイン コントローラ インジケータにアクセスするには、以下の手順を実行します。

1. [インジケータ] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [インジケータ] をクリックします。

OMi では、[管理] > [サービス状況] > [CI ステータスの計算] > [状況インジケータとイベント タイプ インジケータ] をクリックします。

2. [CI タイプ] ペインで、[構成アイテム] > [Infrastructure Element] > [Running Software] > [Directory Server] > [Domain Controller] を選択します。

OMi MP for Microsoft Active Directory では、Active Directory サーバイベントを監視するために、次のドメイン コントローラ インジケータが提供されています。

CI タイプ	HI/ETI	説明	値
Domain Controller	Access Permissions Errors	ドメイン コントローラ上のアクセス権限エラー数を示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	CName Records Availability	ドメイン コントローラの DNS サーバ上の CName レコードの可用性を示します。	見つかりました、見つかりません
Domain Controller	DC LDAP Bind Response Time	ドメイン コントローラ上で LDAP にバインドする応答時間を示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	DC LDAP Query Response Time	ドメイン コントローラ上のサンプル LDAP クエリの応答時間を示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	DFSR Service State	ドメイン コントローラ上の DFSR サービスの状態を示します。	アップ、ダウン

CI タイプ	HI/ETI	説明	値
Domain Controller	DIT Disk Queue Length	DIT ディスクのキューの長さを示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	DIT Disk Space Availability	DIT ディスク上の空き領域の可用性を示します。	正常域、低、限界に近い
Domain Controller	DIT Log Files Disk Queue Length	DIT ログファイル ディスクのキューの長さを示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	DIT Log Files Disk Space Availability	DIT ログファイル ディスク上の空き領域の可用性を示します。	正常域、低、限界に近い
Domain Controller	DNS Query Response	ドメインコントローラ上のサンプルDNSクエリの応答時間を示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	FRS Status	ファイルレプリケーション サービスのステータスを示します。	アップ、ダウン
Domain Controller	Host Records Availability	ドメインコントローラのDNS サーバ上のホストレコードの可用性を示します。	見つかりました、見つかりません
Domain Controller	Inbound Object Updates Remaining	入力方向の残存オブジェクト更新数を示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	Inter site Replication Latency	複数のAD サイトでのドメインコントローラのレプリケーション待機時間を示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	Intra site Replication Latency	AD サイト内のドメインコントローラのレプリケーション待機時間を示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	ISM Service Status	サイト間メッセージング サービスのステータスを示します。	アップ、ダウン
Domain Controller	KDC Service Status	Kerberos 配布 センタ サービスのステータスを示します。	アップ、ダウン
Domain Controller	Kerberos Authentication Rate	ドメインコントローラ上の Kerberos 認証のレートを示します。	正常域、高、最高

CI タイプ	HI/ETI	説明	値
Domain Controller	Kerberos Server Records Availability	DNS サーバ上の Kerberos サーバレコードの可用性を示します。	見つかりました、見つかりません
Domain Controller	LDAP Active Threads	ドメインコントローラ上のアクティブな LDAP スレッド数を示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	LDAP Client Sessions	ドメインコントローラ上の LDAP クライアントセッション数を示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	LDAP Server Records Availability	ドメインコントローラの DNS サーバ上の LDAP サーバレコードの可用性を示します。	見つかりました、見つかりません
Domain Controller	Logon Errors	ドメインコントローラ上のログオンエラー数を示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	LSASS Page Faults Rate	ローカルセキュリティ機関サブシステムサービスのページフォールトのレートを示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	LSASS Private Bytes	ドメインコントローラ上でローカルセキュリティ機関サブシステムサービスによって使用されるプライベートバイト数を示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	LSASS Processor Time	ドメインコントローラ上でローカルセキュリティ機関サブシステムサービスによって使用されるプロセッサ時間を示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	LSASS Working Set	ローカルセキュリティ機関サブシステムサービスのワーキングセットを示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	Net Logon Service State	ドメインコントローラ上の Net Logon サービスのステータスを示します。	アップ、ダウン
Domain Controller	Non Transitive Membership Evaluations	実行された非推移的メンバシップ評価の数を示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	Notify Queue Size	通知キューのサイズを示します。	正常域、高、最高

CI タイプ	HI/ETI	説明	値
Domain Controller	NTDS Service State	ドメインコントローラ上の NTDS サービスのステータスを示します。	アップ、ダウン
Domain Controller	NTFRS Page Faults Rate	NTFRS プロセスのページフォールトのレートを示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	NTFRS Private Bytes	ファイルレプリケーション サービスによって使用されるプライベート バイト数を示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	NTFRS Processor Time	ドメインコントローラ上でファイルレプリケーション サービスによって使用されるプロセッサ時間を示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	NTFRS Service State	ドメインコントローラ上の NTFRS サービスの状態を示します。	アップ、ダウン
Domain Controller	NTFRS Working Set	ドメインコントローラ上のファイルレプリケーション サービスのワーキングセットを示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	NTLM Authentication Rate	ドメインコントローラ上の NTLM 認証のレートを示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	Pending Replication Synchronizations	保留中のレプリケーション同期数を示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	SAMSS Service State	ドメインコントローラ上のセキュリティアカウント マネージャ サービスの状態を示します。	アップ、ダウン
Domain Controller	Security Descriptor Propagator Queue	ドメインコントローラ上のセキュリティ記述子伝達子キューの長さを示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	Sysvol Connectivity	Sysvol フォルダとの接続を示します。	アップ、ダウン
Domain Controller	Sysvol Disk Space Availability	Sysvol ディスク上の空き領域の可用性を示します。	正常域、低、限界に近い

CI タイプ	HI/ETI	説明	値
Domain Controller	Transitive Membership Evaluations	ドメインコントローラ上で実行された推移的メンバシップ評価の数を示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	Directory Read Rate	ディレクトリの読み取りのレートを示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	Directory Search Rate	ディレクトリ検索のレートを示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	Directory Write Rate	ディレクトリ書き込みのレートを示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	Inbound Replication Object Rate	入力方向のレプリケーションオブジェクトレートを監視します。	正常域、高、最高
Domain Controller	LDAP Connectivity	LDAP 接続を示します。	アップ、ダウン
Domain Controller	GC Connectivity	GC 接続を示します。	アップ、ダウン
Domain Controller	Outbound Replication Object Rate	出力方向のレプリケーションオブジェクトレートを監視します。	正常域、高、最高
Domain Controller	Synchronization Failure Rate	同期失敗率を示します。	正常域、高、最高
Domain Controller	Sysvol Disk Queue Length	Sysvol ディスクキューの長さを示します。	正常域、高、最高

グローバルカタログサーバとドメインコントローラの役割のインジケータにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. [インジケータ] ペインを開きます。

BSM では、**[管理]** > **[オペレーション管理]** > **[モニタリング]** > **[インジケータ]** をクリックします。

OMi で、**[管理] > [サービス状況] > [CI ステータスの計算] > [状況インジケータとイベントタイプインジケータ]** をクリックします。

2. [CI タイプ] ペインで、**[構成アイテム] > [InfrastructureElement] > [ApplicationResource] > [DomainControllerResource] > [DomainControllerRole] > [GlobalCatalogServer]** を選択します。

OMi MP for Microsoft Active Directory では、Active Directory サーバイベントを監視するために、次のグローバルカタログサーバおよびドメインコントローラ役割インジケータが提供されています。

CI タイプ	HI/ETI	説明	値
Global Catalog	GC LDAP Bind Response Time	GC 上で LDAP にバインドする応答時間を示します。	正常域、高、最高
Global Catalog	GC LDAP Query Response Time	GC 上のサンプルLDAP クエリの応答時間を示します。	正常域、高、最高
Global Catalog	GC Replication Latency	GC 上のレプリケーション待機時間を示します。	正常域、高、最高
Domain ControllerRole	Response Time	FSMO の役割の Ping 応答時間を示します。	正常域、高、最高

トポロジベースのイベント関連処理 (TBEC) ルール

OMi MP for Microsoft Active Directory では、Active Directory 関連イベントに次の関連ルールを適用できます。

関連ルールのしくみの詳細は、『Operations Manager i コンセプト・ガイド』を参照してください。

関連処理ルールへのアクセス方法

BSM では、**[管理] > [オペレーション管理] > [イベント関連処理] > [トポロジベースのイベント関連処理]** をクリックします。

OMi では、**[管理] > [イベント処理] > [関連] > [トポロジベースのイベント関連]** をクリックします。

AD::DomainController:CNameRecordsAvailability >> InterSiteReplicationLatency & IntraSiteReplicationLatency

説明: ドメイン コントローラの DNS サーバ上の CName レコードの可用性は、サイト間およびサイト内レプリケーション待機時間に影響します

原因

CIT:Domain Controller	ETI: CName Records Availability	値:見つかりません
-----------------------	---------------------------------	-----------

現象 1

CIT:Domain Controller	ETI:Inter Site Replication Latency	値:最高
-----------------------	------------------------------------	------

現象 2

CIT:Domain Controller	ETI:Intra Site Replication Latency	値:最高
-----------------------	------------------------------------	------

AD::DomainController:DIT ディスク キューの長さ >> DomainController パフォーマンス

説明: DIT ディスク キューの長さはドメイン コントローラ パフォーマンスに影響します

原因

CIT:Domain Controller	ETI:DIT Disk Queue Length	値:最高
-----------------------	---------------------------	------

現象 1

CIT:Domain Controller	ETI:DC LDAP Bind Response Time	値:最高
-----------------------	--------------------------------	------

現象 2

CIT:Domain Controller	ETI:DC LDAP Query Response Time	値:最高
-----------------------	---------------------------------	------

現象 3

CIT:Domain Controller	ETI:Inbound Object Updates Remaining	値:最高
-----------------------	--------------------------------------	------

現象 4

CIT:Domain Controller	ETI:Pending Replication Synchronizations	値:最高
-----------------------	--	------

AD::DomainController:DIT ディスク キューの長さ >> GlobalCatalog パフォーマンス

説明:DIT ディスク キューの長さはグローバル カタログ パフォーマンスに影響します		
原因		
CIT:Domain Controller	ETI:DIT Disk Queue Length	値:最高
現象 1		
CIT:Global Catalog Server	ETI:GC LDAP Bind Response Time	値:最高
現象 2		
CIT:Global Catalog Server	ETI:GC LDAP Query Response Time	値:最高

AD::DomainController:DIT ディスク空き領域 >> DIT ディスク キューの長さ & 入力方向の残存オブジェクト更新数

説明:DIT ディスク空き領域は、DIT ディスク キューの長さおよび入力方向の残存オブジェクト更新数に影響します		
原因		
CIT:Domain Controller	ETI:DIT Disk Space Availability	値:限界に近い
現象 1		
CIT:Domain Controller	ETI:DIT Disk Queue Length	値:最高
現象 2		
CIT:Domain Controller	ETI:Inbound Object Updates Remaining	値:最高

AD::DomainController:DIT ログ ファイル ディスク空き領域 & >> DIT ログ ファイル ディスク キューの長さ

説明:DIT ログ ファイルのディスク空き領域は DIT ログ ファイル ディスク キューの長さに影響します		
原因		
CIT:Domain Controller	ETI:DIT Log Files Disk Space Availability	値:限界に近い
現象		
CIT:Domain Controller	ETI:DIT Log Files Disk Queue Length	値:最高

AD::DomainController:FRS Status >> InterSiteReplicationLatency & IntraSiteReplicationLatency

説明:ファイルレプリケーション サービスのステータスは DC レプリケーション待機時間に影響します

原因

CIT:Domain Controller	ETI:FRS Status	値:ダウン
-----------------------	----------------	-------

現象 1

CIT:Domain Controller	ETI:Inter Site Replication Latency	値:最高
-----------------------	------------------------------------	------

現象 2

CIT:Domain Controller	ETI:Intra Site Replication Latency	値:最高
-----------------------	------------------------------------	------

AD::DomainController:HostRecordsAvailability >> InterSiteReplicationLatency & IntraSiteReplicationLatency

説明:ドメイン コントローラの DNS サーバ上のホスト レコードの可用性は、サイト間およびサイト内レプリケーション待機時間に影響します

原因

CIT:Domain Controller	ETI:Host Records Availability	値:見つかりません
-----------------------	-------------------------------	-----------

現象 1

CIT:Domain Controller	ETI:Inter Site Replication Latency	値:最高
-----------------------	------------------------------------	------

現象 2

CIT:Domain Controller	ETI:Intra Site Replication Latency	値:最高
-----------------------	------------------------------------	------

AD::DomainController:ISMServiceStatus >> InterSiteReplicationLatency & IntraSiteReplicationLatency

説明:ISM サービスのステータスはドメイン コントローラ上のサイト間およびサイト内レプリケーション待機時間に影響します

原因

CIT:Domain Controller	ETI:ISM Service Status	値:ダウン
-----------------------	------------------------	-------

現象 1

AD::DomainController:ISMSERVICESTATUS >> InterSiteReplicationLatency & IntraSiteReplicationLatency (続き)

説明:ISM サービスのステータスはドメイン コントローラ上のサイト間およびサイト内レプリケーション待機時間に影響します

CIT:Domain Controller	ETI:Inter Site Replication Latency	値:最高
現象 2		
CIT:Domain Controller	ETI:Intra Site Replication Latency	値:最高

AD::DomainController:KDCSERVICESTATUS >> InterSiteReplicationLatency & IntraSiteReplicationLatency

説明:KDC サービスのステータスはドメイン コントローラ上のサイト間およびサイト内レプリケーション待機時間に影響します

原因

CIT:Domain Controller	ETI:KDC Service Status	値:ダウン
現象 1		
CIT:Domain Controller	ETI:Inter Site Replication Latency	値:最高
現象 2		
CIT:Domain Controller	ETI:Intra Site Replication Latency	値:最高

AD::DomainController:KerberosSrvRecordsAvailability >> InterSiteReplicationLatency & IntraSiteReplicationLatency

説明:ドメイン コントローラの DNS サーバ上の Kerberos サーバレコードの可用性は、サイト間およびサイト内レプリケーション待機時間に影響します

原因

CIT:Domain Controller	ETI:Kerberos Server Records Availability	値:見つかりません
現象 1		
CIT:Domain Controller	ETI:Inter Site Replication Latency	値:最高

AD::DomainController:KerberosSrvRecordsAvailability >> InterSiteReplicationLatency & IntraSiteReplicationLatency (続き)

説明:ドメイン コントローラの DNS サーバ上の Kerberos サーバレコードの可用性は、サイト間およびサイト内レプリケーション待機時間に影響します

現象 2

CIT:Domain Controller	ETI:Intra Site Replication Latency	値:最高
-----------------------	------------------------------------	------

AD::DomainController:LDAPSrvRecordsAvailability >> InterSiteReplicationLatency & IntraSiteReplicationLatency

説明:ドメイン コントローラの DNS サーバ上の LDAP サーバレコードの可用性は、サイト間およびサイト内レプリケーション待機時間に影響します

原因

CIT:Domain Controller	ETI:LDAP Server Records Availability	値:見つかりません
-----------------------	--------------------------------------	-----------

現象 1

CIT:Domain Controller	ETI:Inter Site Replication Latency	値:最高
-----------------------	------------------------------------	------

現象 2

CIT:Domain Controller	ETI:Intra Site Replication Latency	値:最高
-----------------------	------------------------------------	------

AD::DomainController:LSASS ページ フォールト レート >> DomainController パフォーマンス

説明:LSASS ページ フォールト レートはドメイン コントローラ パフォーマンスに影響します

原因

CIT:Domain Controller	ETI:LSASS Page Faults Rate	値:最高
-----------------------	----------------------------	------

現象 1

CIT:Domain Controller	ETI:DC LDAP Bind Response Time	値:最高
-----------------------	--------------------------------	------

現象 2

CIT:Domain Controller	ETI:DC LDAP Query Response Time	値:最高
-----------------------	---------------------------------	------

現象 3

AD::DomainController:LSASS ページ フォールト レート >> DomainController パフォーマンス (続き)

説明:LSASS ページ フォールト レートはドメイン コントローラ パフォーマンスに影響します

CIT:Domain Controller	ETI:Inbound Object Updates Remaining	値:最高
現象 4		
CIT:Domain Controller	ETI:Pending Replication Synchronizations	値:最高

AD::DomainController:LSASS ページ フォールト レート >> GlobalCatalog パフォーマンス

説明:LSASS ページ フォールト レートはグローバル カタログ パフォーマンスに影響します

原因		
CIT:Domain Controller	ETI:LSASS Page Faults Rate	値:最高
現象 1		
CIT:Global Catalog Server	ETI:GC LDAP Bind Response Time	値:最高
現象 2		
CIT:Global Catalog Server	ETI:GC LDAP Query Response Time	値:最高

AD::DomainController:Sysvol 接続 >> 通知キュー サイズ

説明:Sysvol 接続は通知キュー サイズに影響します

原因		
CIT:Domain Controller	ETI:Sysvol Connectivity	値:ダウン
現象		
CIT:Domain Controller	ETI:Notify Queue Size	値:最高

AD::DomainController:Sysvol ディスク空き領域 >> DC レプリケーション待機時間 & 入力方向のレプリケーション オブジェクト レート

説明:Sysvol の空きディスク領域はドメイン コントローラレプリケーション待機時間と入力方向のレプリケーション オブジェクト レートに影響します

原因		
CIT:Domain Controller	ETI:Sysvol Disk Space Availability	値:限界に近い
現象 1		

AD::DomainController:Sysvol ディスク空き領域 >> DC レプリケーション待機時間 & 入力方向のレプリケーション オブジェクト レート (続き)

説明:Sysvol の空きディスク領域はドメイン コントローラレプリケーション待機時間と入力方向のレプリケーション オブジェクト レートに影響します

CIT:Domain Controller	ETI:Inbound Replication Object Rate	値:最高
現象 2		
CIT:Domain Controller	ETI:Inter Site Replication Latency	値:最高
現象 3		
CIT:Domain Controller	ETI:Intra Site Replication Latency	値:最高

AD::DomainController: Sysvol ディスク キューの長さ >> ドメイン コントローラレプリケーション待機時間 & 入力方向のレプリケーション オブジェクト レート

説明:Sysvol ディスク キューの長さはレプリケーション待機時間に影響します

原因		
CIT:Domain Controller	ETI:Sysvol Disk Queue Length	値:最高
現象 1		
CIT:Domain Controller	ETI:Inbound Replication Object Rate	値:最高
現象 2		
CIT:Domain Controller	ETI:Inter Site Replication Latency	値:最高
現象 3		
CIT:Domain Controller	ETI:Intra Site Replication Latency	値:最高

AD::FileSystem:ディスク使用レベル >> DomainController パフォーマンス

説明:DIT ディスク キューの長さは DC パフォーマンスに影響します

原因		
CIT:File System	ETI: Disk Usage Level	値:限界に近い
現象 1		

AD::FileSystem:ディスク使用レベル >> DomainController パフォーマンス (続き)

説明:DIT ディスク キューの長さは DC パフォーマンスに影響します		
CIT:Domain Controller	ETI:DIT Disk Queue Length	値:最高
現象 2		
CIT:Domain Controller	ETI:DIT Log Files Disk Queue Length	値:最高
現象 3		
CIT:Domain Controller	ETI:Sysvol Disk Queue Length	値:最高
現象 4		
CIT:Domain Controller	ETI:Pending Replication Synchronizations	値:最高
現象 5		
CIT:Domain Controller	ETI:Inbound Object Updates Remaining	値:最高

AD::ネットワーク インターフェイス:インターフェイス使用率 >> Sysvol 接続

説明:ネットワーク インターフェイス使用率は Sysvol 接続に影響します		
原因		
CIT:Network Interface	ETI:Interface Utilization	値:高
現象 1		
CIT:Domain Controller	ETI:SysvolConnectivity	値:ダウン

AD::ネットワーク インターフェイス:インターフェイス通信ステータス >> Sysvol 接続

説明:ネットワーク インターフェイスの通信ステータスは Sysvol 接続に影響します		
原因		
CIT:Network Interface	ETI: Interface Communication Status	値:危険域
現象 1		
CIT:Domain Controller	ETI:SysvolConnectivity	値:ダウン

AD::ネットワーク インターフェイス:ネットワーク IO >> ドメイン名 前付けマスタ接続

説明:ネットワーク IO はドメイン名 前付けマスタ接続に影響します		
原因		

AD::ネットワーク インターフェイス:ネットワーク IO >> ドメイン名 前付けマスタ接続 (続き)

説明:ネットワーク IO はドメイン名 前付けマスタ接続に影響します		
CIT:Network Interface	ETI:Interface Utilization	値:高
現象 1		
CIT:Domain Naming Master	ETI:Response Time	値:最高

AD::ネットワーク インターフェイス:ネットワーク IO >> DomainController 接続

説明:ネットワーク IO はドメイン コントローラ接続に影響します		
原因		
CIT:Network Interface	ETI:Interface Utilization	値:高
現象 1		
CIT:Domain Controller	ETI:Inter Site Replication Latency	値:最高
現象 2		
CIT:Domain Controller	ETI:Intra Site Replication Latency	値:最高
現象 3		
CIT:Domain Controller	ETI:Notify Queue Size	値:最高

AD::ネットワーク インターフェイス:ネットワーク IO >> DomainController パフォーマンス

説明:ネットワーク IO はドメイン コントローラ パフォーマンスに影響します		
原因		
CIT:Network Interface	ETI:Interface Utilization	値:高
現象 1		
CIT:Domain Controller	ETI:DC LDAP Query Response Time	値:最高
現象 2		
CIT:Domain Controller	ETI:DC LDAP Bind Response Time	値:最高
現象 3		
CIT:Domain Controller	ETI:Pending Replication Synchronizations	値:最高

AD::ネットワーク インターフェイス:ネットワーク IO >> DomainController パフォーマンス (続き)

説明:ネットワーク IO はドメイン コントローラ パフォーマンスに影響します

現象 4

CIT:Domain Controller	ETI:Inbound Object Updates Remaining	値:最高
-----------------------	--------------------------------------	------

AD::ネットワーク インターフェイス:ネットワーク IO >> グローバル カタログ パフォーマンス

説明:ネットワーク IO はグローバル カタログ パフォーマンスに影響します

原因

CIT:Network Interface	ETI:Interface Utilization	値:高
-----------------------	---------------------------	-----

現象 1

CIT:Global Catalog	ETI:GC LDAP Query Response Time	値:最高
--------------------	---------------------------------	------

現象 2

CIT:Global Catalog	ETI:GC LDAP Bind Response Time	値:最高
--------------------	--------------------------------	------

AD::ネットワーク インターフェイス:ネットワーク IO >> インフラストラクチャ マスタ接続

説明:ネットワーク IO はインフラストラクチャ マスタ接続に影響します

原因

CIT:Network Interface	ETI:Interface Utilization	値:高
-----------------------	---------------------------	-----

現象 1

CIT:Infrastructure Master	ETI:Response Time	値:最高
---------------------------	-------------------	------

AD::ネットワーク インターフェイス:ネットワーク IO >> PDC マスタ接続

説明:ネットワーク IO は PDC マスタ接続に影響します

原因

CIT:Network Interface	ETI:Interface Utilization	値:高
-----------------------	---------------------------	-----

現象 1

CIT:Primary Domain Controller Master	ETI:Response Time	値:最高
--------------------------------------	-------------------	------

AD::ネットワーク インターフェイス:ネットワーク IO >> RID マスタ接続

説明:ネットワーク IO は RID マスタ接続に影響します		
原因		
CIT:Network Interface	ETI:Interface Utilization	値:高
現象 1		
CIT:Relative ID Master	ETI:Response Time	値:最高

AD::ネットワーク インターフェイス:ネットワーク IO >> スキーマ マスタ接続

説明:ネットワーク IO はスキーマ マスタ接続に影響します		
原因		
CIT:Network Interface	ETI:Interface Utilization	値:高
現象 1		
CIT:Schema Master	ETI:Response Time	値:最高

AD::Windows:CPU 負荷 >> DomainController パフォーマンス

説明:CPU 負荷は DomainController パフォーマンスに影響します		
原因		
CIT:Windows	ETI:CPU Load	値:ボトルネック
現象 1		
CIT:Domain Controller	ETI:DC LDAP Bind Response Time	値:最高
現象 2		
CIT:Domain Controller	ETI:DC LDAP Query Response Time	値:最高
現象 3		
CIT:Domain Controller	ETI:Inbound Object Updates Remaining	値:最高
現象 4		
CIT:Domain Controller	ETI:Pending Replication Synchronizations	値:最高

AD::Windows:CPU 負荷 >> GlobalCatalog パフォーマンス

説明:CPU 負荷はグローバルカタログ パフォーマンスに影響します		
原因		
CIT:Windows	ETI:CPU Load	値:ボトルネック
現象 1		
CIT:Global Catalog Server	ETI:GC LDAP Bind Response Time	値:最高
現象 2		
CIT:Global Catalog Server	ETI:GC LDAP Query Response Time	値:最高

AD::Windows:論理 ディスク空き容量 >> DomainController パフォーマンス

説明:論理 ディスク空き容量はドメイン コントローラ パフォーマンスに影響します		
原因		
CIT:Windows	ETI:Logical Disk Free Space	値:限界に近い
現象 1		
CIT:Domain Controller	ETI:DIT Disk Queue Length	値:最高
現象 2		
CIT:Domain Controller	ETI:DIT Log Files Disk Queue Length	値:最高
現象 3		
CIT:Domain Controller	ETI:Inbound Object Updates Remaining	値:最高
現象 4		
CIT:Domain Controller	ETI:Pending Replication Synchronizations	値:最高

AD::Windows:RPC サービス >> DomainController レプリケーション >> 通知キュー サイズ

説明:RPC サービスのステータスはドメイン コントローラ レプリケーション待機時間および通知キュー サイズに影響します		
原因		
CIT:Windows	ETI:RPC Service	値:利用不可
現象 1		

AD::Windows:RPC サービス >> DomainController レプリケーション >> 通知キュー サイズ (続き)

説明:RPC サービスのステータスはドメイン コントローラ レプリケーション待機時間および通知キュー サイズに影響します

CIT:Domain Controller	ETI:Inter Site Replication Latency	値:最高
現象 2		
CIT:Domain Controller	ETI:Intra Site Replication Latency	値:最高
現象 3		
CIT:Domain Controller	ETI:Notify Queue Size	値:最高

Operations Orchestration (OO) フロー

HP Operations Orchestration の OO フローを利用すると、IT プロセスの自動化 やランブック自動化を行うことができます。マッピングの作成とランブック自動化 ルールの詳細については、「ランブック自動化 ルールの作成方法」と「ランブック構成 ペイン」のトピックを参照してください。この項では、OMi MP for Microsoft Active Directory での OO フローの使用について説明します。

OO フローのマッピングを作成する際に、以下の表に記載された属性のデフォルト値を設定できます。これにより、フローを実行するたびに値を設定する必要がなくなります。

属性	説明
omServerPort	HPOM ツール WS のポート番号。この属性はオプションです。
omServerUser	HPOM ツール WS で使用する HPOM サーバのユーザ名。
omServerPassword	HPOM ツール WS で使用する HPOM サーバのパスワード。

この項では、Microsoft Active Directory の OO フローを示します。

• Check if DomainController

ノードが DomainController かどうかをチェックします。

このフローは、CIT **domaincontroller** にマッピングする必要があります。

注: このフローは、HPOM で管理するノードのみで実行できます。

次の表に、この OO フローの実行時にユーザが入力する項目をまとめます。

フローへの入力	説明
omNode	ノードの FQDN。HPOM サーバで使用する管理対象ノードを指定します。OO フローを実行するたびに指定する必要があります。
omCmdTimeout	ノードでリモート コマンドを実行するときのタイムアウト値。これはオプションの属性であり、デフォルト値は 100000 です。
omServer	HPOM サーバの FQDN。この入力は、イベントの属性 Originating Server にマッピングできます。

• Check DIT Disk Space Availability

このフローは DIT ディスクの使用可能領域をチェックする場合に使用します。DIT ディスクの使用可能領域が OO フローで指定したしきい値を上回っているかどうかをチェックします。

注: このフローを実行できるのは、Microsoft Active Directory 用の HPOM スマート プラグインで監視しているドメインコントローラのみです。

このフローは、CIT **domaincontroller** にマッピングする必要があります。

次の表に、この OO フローの実行時にユーザが入力する項目をまとめます。

フローへの入力	説明
omNode	ドメインコントローラの FQDN。HPOM サーバで使用する管理対象ノードを指定します。OO フローを実行するたびに指定する必要があります。
omCmdTimeout	ノードでリモート コマンドを実行するときのタイムアウト値。これはオプションの変数であり、デフォルト値は 100000 です。
threshold	DIT ディスクの空き(使用可能)領域として必要な最小ディスク容量を指定するしきい値 (MB)。これはオプションの属性であり、デフォルト値は 2048 MB (2 GB) です。
omServer	HPOM サーバの FQDN。この入力は、イベントの属性 Originating Server にマッピングできます。

• Check DomainController Health

このフローは、ドメインコントローラの状態のチェックに使用できます。このフローは次の項目をチェックします。

- ノードがドメインコントローラかどうか
- LDAP クエリ応答時間が指定されたしきい値を下回っているか

- GC クエリ応答時間が指定されたしきい値を下回っているか
- DIT の使用可能領域が指定されたしきい値を上回っているか

注: このフローを実行できるのは、Microsoft Active Directory 用の HPOM スマート プラグインで監視しているドメインコントローラのみです。

このフローは、CIT **domaincontroller** にマッピングする必要があります。

次の表に、この OO フローの実行時にユーザが入力する項目をまとめます。

フローへの入力	説明
omNode	ドメインコントローラの FQDN。HPOM サーバで使用する管理対象ノードを指定します。OO フローを実行するたびに指定する必要があります。
omCmdTimeout	ノードでリモート コマンドを実行するときのタイムアウト値。これはオプションの変数であり、デフォルト値は 100000 です。
diskthreshold	DIT ディスクの空き (使用可能) 領域として必要なディスク容量を指定するしきい値 (MB)。これはオプションの属性であり、デフォルト値は 2048 MB (2 GB) です。
ldapthreshold	LDAP 遅延時間/GC クエリ (ミリ秒) のしきい値。これはオプションの属性であり、デフォルト値は 50 です。
omServer	HPOM サーバの FQDN。この入力は、イベントの属性 Originating Server にマッピングできます。

● Check Replication Health

このフローは、ドメインコントローラのレプリケーションの状況チェックに使用できます。

このフローは次の項目をチェックします。

- ノードがドメインコントローラかどうか。
- ドメインコントローラでファイルレプリケーション サービスが実行されているか。
- ドメインコントローラ上の SYSVOL フォルダが共有されているか。
- ドメインコントローラのレプリケーション パートナすべてでファイルレプリケーション サービスが実行されているか。
- 各レプリケーション パートナで発生するレプリケーション遅延がフロー内で指定されたしきい値を下回っているか。

注: このフローを実行できるのは、Microsoft Active Directory 用の HPOM スマート プラグインで監視しているドメインコントローラのみです。

このフローは、CIT **domaincontroller** にマッピングする必要があります。

次の表に、この OO フローの実行時にユーザが入力する項目をまとめます。

フローへの入力	説明
omNode	ドメインコントローラの FQDN。HPOM サーバで使用する管理対象ノードを指定します。OO フローを実行するたびに指定する必要があります。
omCmdTimeout	ノードでリモート コマンドを実行するときのタイムアウト値。これはオプションの変数であり、デフォルト値は 100000 です。
replicationlatency threshold	前回ソースからレプリケーションを実行してから経過した最大時間のしきい値 (ミリ秒)。これはオプションの属性であり、デフォルト値は 10 です。
omServer	HPOM サーバの FQDN。この入力は、イベントの属性 Originating Server にマッピングできます。

• GC Query Response Time

このフローでは、サンプル GC クエリの実行時間 (ミリ秒) を特定できます。

注: このフローを実行できるのは、HPOM で管理し、Microsoft Active Directory ドメインのメンバーであるノードのみです。

このフローは、CIT **domaincontroller** にマッピングする必要があります。

次の表に、この OO フローの実行時にユーザが入力する項目をまとめます。

フローへの入力	説明
omNode	ノードの FQDN。HPOM サーバで使用する管理対象ノードを指定します。OO フローを実行するたびに指定する必要があります。
omCmdTimeout	ノードでリモート コマンドを実行するときのタイムアウト値。これはオプションの属性であり、デフォルト値は 100000 です。
omServer	HPOM サーバの FQDN。この入力は、イベントの属性 Originating Server にマッピングできます。

• Get LDAP Query Response Time

このフローでは、サンプル LDAP クエリの実行時間 (ミリ秒) を特定できます。

注: このフローを実行できるのは、HPOM で管理し、Microsoft Active Directory ドメインのメンバであるノードのみです。

このフローは、CIT **domaincontroller** にマッピングする必要があります。

次の表に、この OO フローの実行時にユーザが入力する項目をまとめます。

フローへの入力	説明
omNode	ノードの FQDN。HPOM サーバで使用する管理対象ノードを指定します。OO フローを実行するたびに指定する必要があります。
omCmdTimeout	ノードでリモート コマンドを実行するときのタイムアウト値。これはオプションの属性であり、デフォルト値は 100000 です。
omServer	HPOM サーバの FQDN。この入力は、イベントの属性 Originating Server にマッピングできます。

• Get Replication Latency

このフローでは、レプリケーションソースからのレプリケーションが前回成功してから経過した時間 (ミ秒) を特定できます。

注: このフローは、HPOM で管理するノードのみで実行できます。

このフローは、CIT **domaincontroller** にマッピングする必要があります。

次の表に、この OO フローの実行時にユーザが入力する項目をまとめます。

フローへの入力	説明
omNode	ドメインコントローラの FQDN。HPOM サーバで使用する管理対象ノードを指定します。OO フローを実行するたびに指定する必要があります。
omReplication Source	ノードの FQDN。レプリケーションで使用するソースです。OO フローを実行するたびに、この値を指定する必要があります。
omCmdTimeout	ノードでリモート コマンドを実行するときのタイムアウト値。これはオプションの属性であり、デフォルト値は 100000 です。
omServer	HPOM サーバの FQDN。この入力は、イベントの属性 Originating Server にマッピングできます。

グラフテンプレート

次の表に、OMi MP for Microsoft Active Directory で提供されているグラフテンプレートを示します。

グラフテンプレート	説明	メトリック名	データストアのテーブル
Active Directory DNS Query Response Time Graph	Active Directory DNS クエリ応答時間の平均	RESPTIME	ADSPI_DNSDR
Active Directory SYSVOL Disk Queue Length Graph	Active Directory Sysvol ディスクキューの長さの平均	SYSQLVALUE	ADSPI_SYSQUEUELENGTH
Active Directory SYSVOL Disk Utilization Graph	Active Directory SYSVOL ディスクの使用率	SYSPERCVALUE	ADSPI_SYSVOLPTFULL
Active Directory DIT Log File Disk Queue Length Graph	Active Directory DIT ログファイルディスクキューの長さの平均	LGQLENVALUE	ADSPI_LOGQUEUELENGTH
Active Directory DIT Log File Disk Utilization Graph	Active Directory ログファイルディスクの使用率	LGPERFULLVALUE	ADSPI_LOGPERCENTFULL
Active Directory DIT File Growth Graph	Active Directory DIT ファイルの成長率	INSTANCEVALUE	ADSPI_DITDBSIZE
Active Directory DIT Disk Queue Length Graph	Active Directory DIT キューの長さの平均	DITQLVALUE	ADSPI_DITQUEUELENGTH
Active Directory DIT Disk Utilization Graph	Active Directory DIT ディスクの使用率	DITPTVALUE	ADSPI_DITPERCENTFULL
Active Directory Bind Response Time	Active Directory でのディレクトリとグローバルカタログのバインド時間	GCBINDTIME	ADSPI_RESPONSE TIME

グラフ テンプレート	説明	メトリック名	データ ストアのテーブル
Active Directory Query Response Time	Active Directory でのディレクトリとグローバルカタログのクエリ時間	QUERYTIME	ADSPI_RESPONSE TIME
Active Directory Replication Time by Global Catalog	グローバルカタログサーバの平均レプリケーション時間	LATENCYDELTA	ADSPI_GCREP
Active Directory GC Availability	グローバルカタログサーバ別のグローバルカタログの可用性	GCPRESENT	ADSPI_RESPONSE TIME
Active Directory Replication Latency Graph	各 Active Directory ドメインの遅延時間の平均、最小値、最大値	LATENCYAVG	ADSPI_REPLA TENCY

注: データストアの詳細は、「[付録: ログ記録のデータソース](#)」を参照してください。

ツール

OMi MP for Microsoft Active Directory は、さまざまなツールで Microsoft Active Directory 環境を表示および監視します。ツールを使用することで、[Event Browser] のイベントのコンテキストでアクションを実行できます。次のようなツールが提供されています。

- **実行可能ファイル:** デプロイされた Operations Manager エージェントを介して、ホスト上でローカルに起動可能なネイティブコマンド。
- **スクリプト:** デプロイされた Operations Manager エージェントを介して、ホスト上で実行可能な各種スクリプト。

ツールにアクセスする方法

1. [ツール] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [操作コンソール] > [ツール] をクリックします。

OMi では、[管理] > [操作コンソール] > [ツール] をクリックします。

2. [CI タイプ] ペインで、[InfrastructureElement] > [RunningSoftware] > [DirectoryServer] > [DomainController] をクリックします。

OMi MP for Microsoft Active Directory には、以下のツールが含まれます。

CI タイプ	ツール	説明
DomainController	MSAD 信頼関係	ドメインの信頼関係を表示します。
DomainController	MSAD DC 降格準備	ドメインコントローラを降格する前に、レプリケーション待機時間の追跡に関連するオブジェクトを削除します。
DomainController	MSAD コレクション マネージャトレースの有効化	コレクション マネージャコンポーネントのトレースを有効にします。渡されるパラメータ: \$TRACELEVEL - トレースレベルは 0 ~ 4 の値 (4 が最大値)。
DomainController	MSAD コレクション マネージャトレースの無効化	コレクション マネージャコンポーネントのトレースを無効にします。
DomainController	MSAD ADS サービスのチェック	Active Directory Service Interfaces (ADSI) を使用して特定ノードの ADS サービスに接続します。
DomainController	MSAD ADS プリンタ情報	Active Directory 内で認識されているすべてのプリンタの一覧を作成します。「-all」の代わりにパラメータ「-ou <(OU 名)>」を使用することにより、出力を特定の組織単位 (OU) に制限することができます。
DomainController	MSAD 古いクラスの削除	古い Active Directory 管理テンプレートのデータソース クラスとクラスを削除します。 <div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px; border: 1px solid #ccc;"> <p>注: ツールを実行するには、Active Directory Management Pack のアップグレードが必要です。</p> </div>
DomainController	ファイルレプリケーションサービスの開始	ファイルレプリケーション サービスを開始します。

第4章: OMi MP for Microsoft Active Directory のカスタマイズ

ここでは、Microsoft Active Directory でのカスタマイズについて説明します。

- [Microsoft Active Directory 管理テンプレートの作成](#)
- [Microsoft Active Directory 管理テンプレートの編集](#)




Microsoft Active Directory 管理テンプレートの作成


この項では、Microsoft Active Directory 管理テンプレートの作成方法について説明します。

1. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。


BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアスペクト] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアスペクト] をクリックします。

2. [構成フォルダ] ペインで、[構成フォルダ] > [Microsoft アプリケーション構成の管理] > [Microsoft Active Directory] > [管理テンプレート] を選択します。
3. 新しい構成フォルダの作成が必要な場合は、 [構成フォルダの作成] をクリックします。[構成フォルダの作成] ウィンドウが開きます。
4. 新しい構成フォルダの名前と説明を記載します。たとえば、新しい構成フォルダに <Test> という名前を付けることができます。
5. [OK] をクリックします。新しい構成フォルダが作成されます。
6. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインで、新しい構成フォルダを選択します。続いて、 をクリックし、 [管理テンプレートの作成] をクリックします。[管理テンプレートの作成] ウィンドウが開きます。
7. [一般] タブで、新しい管理テンプレートの名前を指定し、[次へ] をクリックします。
8. **トポロジ ビュー** タブで、ドロップダウンリストからトポロジ ビューを1つ選択します。たとえば、AD_Logical_View を選択します。このトポロジ ビューには、この管理テンプレートを使用して管理するすべての CI タイプが表示されます。

9. トポロジ マップの項目をクリックするか、管理テンプレートに関連付けることができる CI タイプを **[CI タイプ]** ドロップダウン リストから選択します。たとえば、DomainController を選択できます。
10. **[次へ]** をクリックします。
11. **[アспект]** タブで、管理テンプレートにアспектを追加します。既存のアспектを追加するには、以下の手順を実行します。
 - a. [次の CI タイプに一致する利用可能なアспект] ペインから追加するアспектを選択します。複数のアспектを選択するには、**[Ctrl]** キーまたは **[Shift]** キーを使用します。
 - b.  をクリックし、アспектを [選択したアспект] ペインに移動します。管理テンプレートにアспектが追加されます。
12. **[次へ]** をクリックします。
13. **[パラメータ]** タブで、この管理テンプレートに追加したアспектにあるすべてのパラメータの一覧を参照できます。パラメータのデフォルト値を編集できます。

パラメータを編集するには、次の手順を実行します。

 - a. パラメータをダブルクリックするか、リストから選択して  **[編集]** をクリックします。[パラメータの編集] ダイアログ ボックスが開きます。
 - b. パラメータのデフォルト値を変更して、**[OK]** をクリックします。
14. [管理テンプレートの作成] ウィンドウで **[完了]** をクリックします。新しい管理テンプレートが、[管理テンプレートおよびアспект] ペインに表示されます。

Microsoft Active Directory 管理テンプレートの編集

Microsoft Active Directory 管理テンプレートを編集して、以下のコンポーネントを変更できます。

- パラメータ
- Microsoft Active Directory のアспект

パラメータの編集

事例: 現在、環境内の Microsoft Active Directory セットアップを監視するため、詳細 Microsoft Active Directory 管理テンプレートを使用しています。使用可能な空き領域をより詳しく観察するため、空きが少ない DIT ディスク容量を監視し、DIT ディスク容量に対応するパラメータを変更します。

DIT ディスク容量をより詳しく観察するために、DIT ディスク容量パラメータ (DIT ディスク使用率。しきい値注意域)) を変更する必要があります。

パラメータの編集は、デプロイメント前とデプロイメント後の 2 つのレベルで行うことができます。

デプロイメント前:



1. [管理 テンプレート およびアスペクト] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理 テンプレート およびアスペクト] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [管理 テンプレート およびアスペクト] をクリックします。

2. [構成 フォルダ] ペインで、次を選択します。

[構成 フォルダ] > [Microsoft Active Directory] > [Microsoft Active Directory 管理 テンプレート]

3. リストから **[詳細 Microsoft Active Directory 管理 テンプレート]** を選択し、 をクリックします。[管理 テンプレートの編集] ウィンドウが開きます。
4. **[パラメータ]** タブをクリックします。[パラメータ] リストが表示されます。
5. 変更する **[DIT ディスク使用率.しきい値 注意域]** パラメータを選択し、 をクリックします。[パラメータの編集] ウィンドウが開きます。
6. [定数値 (数値)] セクションのデフォルトのしきい値を変更できます。**[OK]** をクリックします。
7. [管理 テンプレートの編集] ウィンドウで、**[OK]** をクリックします。Microsoft Active Directory 管理 テンプレートのバージョンが1つ増加します。

デプロイメントの後:

1. 次の手順で [割り当て および調整] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [割り当て および調整] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [割り当て および調整] をクリックします。

2. **[ビューの参照]** タブで、値を編集する CI を含む **AD_Logical_View** を選択します。
3. CI のリストで、CI をクリックします。[割り当て 詳細] ペインに、現在のパラメータ値が表示されます。
4. [割り当て 詳細] ペイン内のデフォルト値を変更するには、次の手順を実行します。
 - a. **[DIT ディスク使用率.しきい値 注意域]** パラメータをダブルクリックします。[パラメータの編集] ダイアログ ボックスが開きます。
 - b. 値を変更して、**[OK]** をクリックします。新しいパラメータ値が関連する CI にデプロイされます。

注: Microsoft Active Directory 管理 テンプレートのバージョン番号は、Microsoft Active Directory 管理 テンプレートがカスタマイズされるたびに増加します。

アスペクトの編集

事例: 基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレートを使用して、重要な最小限の Microsoft Active Directory およびサーバデプロイメントを監視します。基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレートの一部であるアスペクトのうちいくつかは使用しません。この場合、次の手順で、管理テンプレートに関連付けられているアスペクトを削除できます。

1. [管理テンプレートおよびアスペクト] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [管理テンプレートおよびアスペクト] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [管理テンプレートおよびアスペクト] をクリックします。

2. [構成フォルダ] ペインで、[構成フォルダ] > [Microsoft Active Directory] > [Microsoft Active Directory 管理テンプレート] を選択します。
3. リストから [基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレート] を選択し、 をクリックします。[管理テンプレートの編集] ウィンドウが開きます。
4. [アスペクト] タブをクリックします。基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレートに関連付けられているアスペクトが表示されます。
5. [選択したアスペクト] ペインから削除するアスペクトを選択し、 をクリックして [利用可能なアスペクト] ペインにアスペクトを移動します。複数のアスペクトを選択するには、[Ctrl] キーまたは [Shift] キーを使用します。

注: [選択したアスペクト] ペインから [利用可能なアスペクト] ペインにアスペクトを移動することで、管理テンプレートに関連付けられているアスペクトが削除されます。

6. [OK] をクリックします。Microsoft Active Directory 管理テンプレートのバージョンが 1 つ増加します。

第5章: デプロイメント シナリオ

この項では、Microsoft Active Directory サーバを監視するための OMi MP for Microsoft Active Directory のデプロイについて説明します。

Active Directory サーバの可用性およびパフォーマンスを監視するための OMi MP for Microsoft Active Directory のデプロイ

Microsoft Active Directory サーバの可用性およびパフォーマンスを監視するために OMi MP for Microsoft Active Directory をデプロイするには、次の手順を実行します。

1. 監視するノードを OMi コンソールに追加します。
2. Microsoft Active Directory 検出アスペクトを管理対象ノードにデプロイします。
3. 基本 Microsoft Active Directory 管理テンプレートをデプロイします。

OMi MP for Microsoft Active Directory のデプロイの詳細については、「[作業の開始](#)」を参照してください。

Active Directory レプリケーションを監視するための OMi MP for Microsoft Active Directory のデプロイ

Active Directory レプリケーションを監視するために OMi MP for Microsoft Active Directory をデプロイするには、次の手順を実行します。

1. 監視するノードを OMi コンソールに追加します。
2. Microsoft Active Directory 検出アスペクトを管理対象ノードにデプロイします。
3. 以下のアスペクトをデプロイします。
 - Microsoft AD レプリケーション
 - Microsoft AD レプリケーション統計
 - Microsoft AD レプリケーション ログ

OMi MP for Microsoft Active Directory のデプロイの詳細については、「[作業の開始](#)」を参照してください。

ADFS を使用している Active Directory サーバを監視するための OMi MP for Microsoft Active Directory のデプロイ

ADFS を使用している Active Directory サーバを監視するために OMi MP for Microsoft Active Directory をデプロイするには、次の手順を実行します。

1. 監視するノードを OMi コンソールに追加します。
2. Microsoft Active Directory 検出アスペクトを管理対象ノードにデプロイします。
3. 以下のアスペクトをデプロイします。
 - Microsoft AD フェデレーション サービス
 - Microsoft AD フェデレーション サービス ログ

OMi MP for Microsoft Active Directory のデプロイの詳細については、「[作業の開始](#)」を参照してください。

第6章: トラブルシューティング

この項では、トラブルシューティングについて説明します。

ライセンス数が更新されない

問題: ライセンス管理でライセンス数が更新されません。


解決策: この問題を解決するには、以下の手順を実行します。

1. OMi MP for Microsoft Active Directory のインストール後、次の手順でライセンスがアクティブ化されていることを確認します。

- a. [ライセンス管理] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [プラットフォーム] > [セットアップと保守] > [ライセンス管理] をクリックします。

OMi では、[管理] > [セットアップと保守] > [ライセンス管理] をクリックします。

- b.  をクリックし、**license.dat** ファイルを選択します。ライセンスの詳細情報が [ライセンス管理] ウィンドウに表示されます。

ライセンス管理では、名前、ライセンスのタイプ、残り日数、有効期限、ライセンス数などの情報が表示されます。

2. 管理対象ノードでのライセンスの使用状況をチェックするには、管理対象ノードで次のコマンドを実行します。

```
<OvAgentDir>/bin/ovodetect -t
```

上記のコマンドの出力が `mpinstance="1"` の場合、Microsoft Active Directory サーバは監視の対象になっています。上記のコマンドの出力が `mpinstance="0"` の場合、Microsoft Active Directory サーバは監視されていません。

3. それでも [ライセンス管理] に反映されない場合は、次のコマンドを実行し、管理対象ノードでエージェントを再起動します。

```
<OvAgentDir>/bin/ovc- restart opcmsga
```

Microsoft Active Directory CI がRTSM に表示されません。

問題: Microsoft Active Directory CI がノードから RTSM で同期しません。

解決策: この問題を解決するには、以下の手順を実行します。

1. [インフラストラクチャ設定] ペインを開きます。

BSM では、[管理] > [プラットフォーム] > [セットアップと保守] > [インフラストラクチャ設定] をクリックします。

OMi では、[管理] > [セットアップと保守] > [インフラストラクチャ設定] をクリックします。

2. [インフラストラクチャ設定] マネージャで、[アプリケーション] > [オペレーション管理] を選択します。
3. [オペレーション管理] の [HPOM トポロジ同期設定] で、Topology Sync のパッケージにはトポロジ同期 (default;nodegroups;operationsagent;HPOprSys;HPOprAds) に使用するパッケージが含まれます。
4. 次のコマンドを実行し、Microsoft Active Directory を検出する **MSAD_Discovery** ポリシーが使用可能で、管理対象ノードにデプロイされていることを確認します。

```
%ovInstalldir%\bin\ovpolicy -l
```

5. 管理対象ノード上にある Microsoft Active Directory 検出ログファイルを確認します。

```
<ovagentdir>/log/OvAdsDisc.log
```

管理テンプレートとアスペクトが管理対象ノードにデプロイされない

問題: 管理テンプレートとアスペクトが管理対象ノードにデプロイされません。

解決策: この問題を解決するには、以下の手順を実行します。

1. [デプロイメント ジョブ] ペインを開いて、デプロイメント ステータスを確認します。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [デプロイメント ジョブ] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [デプロイメント ジョブ] をクリックします。

2. [割り当ておよび調整] ペインを開いて、割り当てステータスを確認します。

BSM では、[管理] > [オペレーション管理] > [モニタリング] > [割り当ておよび調整] をクリックします。

OMi では、[管理] > [監視] > [割り当ておよび調整] をクリックします。

3. 次の OMi ログ ファイルを確認します。

```
%topaz_home%\log\EJBContainer\opr-webapp.log
```

```
%topaz_home%\log\EJBContainer\opr-configserver.log
```

Performance Manager i (PMi) グラフまたはレポートにデータが表示されない

問題: グラフまたはレポートを作成するための情報を OMi MP for Microsoft Active Directory から利用できません。

解決策: この問題を解決するには、以下の手順を実行します。

1. 次のコマンドを実行してグラフのデータソースが生成されているかどうかを確認します。

```
ovcodautl -showds
```

データソースのリストを表示し、ADSPI データソースが作成されていることを確認します。

2. データソースが作成されていない場合、次のコマンドを実行して、データソースを作成します。

```
<ovagentdir>\bin\instrumentation\adspi_ddf.bat
```

3. 次のコマンドを実行して、データがデータソースのログに記録されていることを確認します。

```
ovcodautl -dumpds ADSPI
```

パフォーマンス収集が失敗する

問題: Microsoft Active Directory のパフォーマンス収集が失敗します。

解決策: この問題を解決するには、以下の手順を実行します。

1. 収集スケジュールのアスペクトがノードにデプロイされていることを確認します。
2. ノードで <ovagentdir>\conf\MSAD\MSAD_config ディレクトリに移動し、次のファイルが存在するかどうかをチェックします。

```
MSAD_MetricDef.xml
```

3. パフォーマンス収集が実行されているかどうかを確認するには、次のコマンドを実行してください。

```
msscollectionmanager.exe -s MSAD -f MEDIUM -r ALL -o p
```

成功するとパフォーマンス収集が返され、失敗するとエラーが表示されます。

管理対象ノード上のバイナリの失敗

問題: エージェントがHPOM 管理サーバに対して検出したサービスの更新に失敗します。

解決策: 次の手順で、管理対象ノード上で Microsoft Active Directory の検出バイナリを実行します。

1. 管理者として管理対象ノードにログオンします。
2. コマンド プロンプトから、インストルメンテーション ディレクトリを開きます。
3. <ovagentdir>\bin\instrumentation\ovadsdisc.exe > out.xml コマンドを実行します。
4. out.xml を Web ブラウザで開いて必要な xml 形式になっているかどうかを確認します。

データ ログ ポリシーでデータをログ記録できない

問題: データ ログ ポリシーでデータをログ記録できません。

解決策: データソース ADSPI が作成されているかどうかをチェックしてください。ファイルを作成するには、以下の手順に従います。

1. 管理者として管理対象ノードにログオンします。
2. コマンド プロンプトから、ovcodutil -obj > out.txt コマンドを実行します。
3. out.txt ファイルで、データソース ADSPI が作成されていることを確認します。

perfmon カウンタ メトリクスを収集またはログに記録できない

問題: perfmon カウンタ メトリクスがログに記録されません。

解決策: perfmon カウンタ メトリクスを収集するには、**MSAD Enable Collection Manager Trace** ツールを有効にします。

注: データの収集を、**MSAD Disable Collection Manager Trace** ツールでトレースを無効にしてください。

トレース

問題が発生した場合、トレースを有効にします。トレースは、FSMO や複製の条件、状態、エラーなど、Microsoft Active Directory ログに含まれている Microsoft Active Directory に関連するすべての情報を取り込みます。

Microsoft Active Directory Management Pack バイナリは、サフィックスが -l 1 を指定するとすべてトレースできます。

次の例を参考にしてください。

MSAD_DNS_DC_A_Chk ポリシーには、以下のコマンドがあります。

```
ADSPI_DnsMon.exe -svc ldap -rec host -type missing -n MSAD_DNS_DC_A_Chk -L10N _en  
バイナリ ADSPI_DnsMon.exe をトレースするには、このコマンドを以下のように変更する必要があります。
```

```
ADSPI_DnsMon.exe -svc ldap -rec host -type missing -n MSAD_DNS_DC_A_Chk -L10N _en -  
l 1
```

注: トレースファイル ADSPI_DnsMon.log は、以下のフォルダにあります。

```
%ovagentdir%\log
```

組み込みスクリプト付きのすべての Microsoft Active Directory ポリシーをトレースするには、デバッグ変数をスクリプトにある **DEBUG=TRUE** に変更します。

第A章: 付録: ログ記録のデータソース

OMi MP for Microsoft Active Directory では、データ収集手順を容易にするため、ノード上のデータストアに以下のデータが付属しています。

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー名/収集名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
ADSPI_ DITDBSIZE	Microsoft AD DIT	MSAD_TotalDitSize	INSTANCE_NAME	UTF8 / Text
			InstanceValue	UINT64 / Precision 0
ADSPI_ DITPERCENT FULL	Microsoft AD DIT	MSAD_ DITPercentFull	DITPTName	UTF8 / Text
			DITPTValue	REAL64/ Precision 2
ADSPI_ DITQUEUE LENGTH	Microsoft AD DIT	MSAD_ DITQueueLength	DITQLName	UTF8 / / Text
			DITQLValue	UINT64/ Precision 0
ADSPI_DNSDR	Microsoft AD DNS 応答	MSAD_DNS_DC_ Response	RespTime	REAL64/ Precision 2
ADSPI_DNSSP	Microsoft AD DNS	MSAD_DNS_ LogDNSPagesSec	IsDomainCtrl	REAL64/ Precision 2
			PagesPerSec	
ADSPI_ DOMAIN	Microsoft AD DIT	MSAD_TotalDitSize	DomainName	UTF8 / Text
			DomainValue	
ADSPI_FSMO	Microsoft AD FSMO 応答 時間	MSAD_SCH_ FSMOLogging	FSMO	UTF8 / Text
			SERVER	UTF8 / Text
			PINGTIME	REAL64/ Precision 2
			FSMOBINDTIME	REAL64/ Precision 2

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー名/収集名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
ADSPI_FSMO_ ROLE MVMT	Microsoft AD FSMO 役割 の移動	MSAD_SCH_ FSMORoleMovemen t	FSMORM	UTF8 / Text
			ISROLEHOLDER	REAL64/ Precision 2
ADSPI_GCREP	Microsoft AD レプリケーショ ン自動ベース ライン	MSAD_Rep_GC_ Check_and_ Threshold_Monitor_ AT	GCREPName	UTF8 / Text
			LatencyDelta	REAL64/ Precision 2
ADSPI_ LOGDISK SIZE	Microsoft AD DIT	MSAD_ LogFilesPercentFull	DISKName	UTF8 / Text
			DISKValue	UINT64 / Precision 0
ADSPI_LOG PERCENTFULL	Microsoft AD DIT	MSAD_ LogFilesPercentFull	LGPERFULLName	UTF8 / Text
			LGPERFULLValue	REAL64/ Precision 2
ADSPI_ LOGQUEUE LENGTH	Microsoft AD DIT	MSAD_ DITQueueLength	LGQLENName	UTF8 / Text
			LGQLENValue	UINT64 / Precision 0
ADSPI_NTDS	Microsoft AD サービス	MSAD_NTDS Details	DRAInboundBTS	REAL64/ Precision 2
			DRAInboundBTS	REAL64/ Precision 2
			DRAOutboundBCSec	REAL64/ Precision 2
			DSThreadsinUse	UINT64 / Precision 0
			DRAInboundBCSec	REAL64/ Precision 2
			DRAOutboundBTS	REAL64/ Precision 2
			DRAInboundBNC WSSec	REAL64/ Precision 2

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー名/収集名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
			DRAOutboundBNC WSSec	REAL64/ Precision 2
ADSPI_NTDSP	Microsoft AD サービス	MSAD_ NTDSPROCDETAI LS	INSTANCE_NAME	UTF8 / Text
			PctProcTime	REAL64/ Precision 2
			PageFaultsSecs	REAL64/ Precision 2
			WorkingSet	UINT64 / Precision 0
ADSPI_REPLA TENCY	Microsoft AD レプリケーショ ン	MSAD_Rep_ MonitorIntraSiteRepli cation and MSAD_ Rep_ MonitorInterSiteRepli cation	LATENCYMIN	REAL64/ Precision 2
			LATENCYMAX	
			LATENCYAVG	
			LASTREPDELTA MIN	
			LASTREPDELTA MAX	
			LASTREPDELTA AVG	
			LASTREPTIME	REAL64/ Precision 2
ADSPI_ RESPONSE TIME	Microsoft AD 応答時間	MSAD_SCH_ ResponseLogging	BINDTIME	REAL64/ Precision 2
			QUERYTIME	REAL64/ Precision 2
			GCBINDTIME	REAL64/ Precision 2
			GCQUERYTIME	REAL64/ Precision 2
			GCPRESENT	UINT64 / Precision 0

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー名/収集名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
			AVAILABILITY	UINT64 / Precision 0
			GCAVAILABILITY	UINT64 / Precision 0
ADSPI_SITE	Microsoft AD DIT	MSAD_TotalDitSize	SiteName	UTF8 / Text
			SiteValue	
ADSPI_ SYSVOLPT FULL	Microsoft AD SYSVOL	MSAD_SYSVOL_ PercentFull	SYSPERCName	UTF8 / Text
			SYSPERCValue	REAL64/ Precision 2
ADSPI_ TIMESYNC	Microsoft AD レプリケーショ ン	MSAD_Rep_ TimeSync	TIMESYNC	REAL64/ Precision 2
ADSPI_TRUST	Microsoft AD 信頼	MSAD_Trust_Mon_ Add_Del	Changetype	UINT64 / Precision 0
			TrustingDomain	UTF8 / Text
			TrustedDomain	UTF8 / Text
			Trustattributes	UINT64 / Precision 0
			TrustDirection	UINT64 / Precision 0
			TrustStatus	UINT64 / Precision 0
			TrustStatusString	UTF8 / Text
			TrustType	UINT64 / Precision 0
ADSPI_DNSSR	Microsoft AD DNS 応答	MSAD_DNS_ Server_Response	ResTime	REAL64/ Precision 2
ADSPI_ INBOUNDS	Microsoft AD レプリケーショ ン	MSAD_Rep_ InboundObjs	InstanceName	UINT64 / Precision 0

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー名/収集名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
	ン統計		オブジェクト	REAL64/ Precision 2
ADSPI_ SCHEMA MISMATCH	Microsoft AD ディレクトリア クセス	MSAD_ SyncSchemaMisMat ch	SchemaMismatch Name	UTF8 / Text
			SchemaMismatchCnt	UTF8 /
ADSPI_ OUTBOUNDS	Microsoft AD レプリケーショ ン統計	MSAD_ OutboundObjs	INSTANCE_NAME	UTF8 / Text
			OUTOBJECTS	UTF64 Precision 0
ADSPI_ADFS	Microsoft AD フェデレーショ ンサービス	MSAD_ADFS	INSTANCE_NAME	UTF8 / Text
			INSTANCE_VALUE	UTF8 / Text
ADSPI_NTDSPP	Microsoft AD サービス	MSAD_ NTDSPPROCDETA LS	INSTANCE_NAME	UTF8 / Text
			PctProcTime	REAL64/ PRECISION 2
			PageFaultsSec	REAL64/ PRECISION 2
			WorkingSet	UINT64/ PRECISION 0
ADSPI_ GLOBALCATA LOG	Microsoft AD グローバルカ タログアクセ ス	MSAD_ GlobalCatalogDS	INSTANCE_NAME	UTF8 / Text
			DIRECTORYWRITES	UTF8 / Text
			DIRECTORYREADS	UTF8 / Text
			DIRECTORYSEARCH ES	UTF8 / Text

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー名/収集名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
ADSPI_ PROCESS	Microsoft AD サービス	MSAD_ LASSPROCDETAIL S	INSTANCE_NAME	UTF8 / Text
			PAGEFAULTS	UTF8 / Text
			PRIVATEBYTES	UTF8 / Text
			PERCENTPROCTIME	UTF8 / Text
			WORKINGSET	UTF8 / Text
ADSPI_NTDS	Microsoft AD サービス	MSAD_NTDS Details	INSTANCE_NAME	UTF8 / Text
			DRAINBOUNDDBTS	UTF8 / Text
			DRAOUTBOUNDBCSE C	UTF8 / Text
			DSTHEADSINUSE	UTF8 / Text
			DRAINBOUNDBCSEC	UTF8 / Text
			DRAOUTBOUNDDBTS	UTF8 / Text
			DRAINBOUNDNBCWS SEC	UTF8 / Text
			DRAOUTBOUNDNBC WSSEC	UTF8 / Text
ADSPI_ KerberosAuth	Microsoft AD 認証	MSAD_ Authentications 注: デフォルトで は、この収集は 無効化されてい ます。データをロ グに記録するに は、 MSAD_ Collection Definition ポリ シーで収集を有 効化する必要が あります。	INSTANCE_NAME	UTF8 / Text
			KERBAUTH	UTF8 / Text
			NTLMAUTH	UTF8 / Text

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー名/収集名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
ADSPI_ DirectoryAccess	Microsoft AD ディレクトリア クセス	MSAD_ DirectoryAccess	INSTANCE_NAME	UTF8 / Text
			LDAPACTIVTH	UTF8 / Text
			LDAPBINDTIME	UTF8 / Text
			LDAPCLIENTSES	UTF8 / Text
			DIRECTORYWRITES	UTF8 / Text
			DIRECTORYREADS	UTF8 / Text
			DIRECTORYSEARCH ES	UTF8 / Text
ADSPI_RepMon	Microsoft AD レプリケーショ ン統計	MSAD_RepMon	PENDINGREPSYNC	UTF8 / Text
			PENDINGREPSYNC	UTF8 / Text
			INBOUNDBYTESCMP	UTF8 / Text
			INBOUNDBYTESNCM P	UTF8 / Text
			INBOUNDOBJUPD	UTF8 / Text
			NOTIFYQUEUE	UTF8 / Text
ADSPI_SecMon	Microsoft AD 認証	MSAD_ AccessSecurityMon	SVRNAME	UTF8 / Text
			ERACSPERM	UTF8 / Text
			ERRGTACCESS	UTF8 / Text
			ERRLOGON	UTF8 / Text

注: デフォルトでは、この収集は無効化されています。データをログに記録するには、**MSAD_Collection Definition** ポリシーで収集を有効化する必要があります。

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー名/収集名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
ADSPI_ DSSecMon	Microsoft AD セキュリティ	MSAD_DSSecurity	INSTANCE_NAME	UTF8 / Text
			OMESAMNTMEM	UTF8 / Text
			SECDESC	UTF8 / Text
			TWOSAMTRNMEM	UTF8 / Text
ADSPI_ISMChk	Microsoft AD サービス	MSAD_Rep_ISM_ Chk	SERVNAME	UTF8 / Text
			SRVDISPNAME	UTF8 / Text
			SERVSTATUS	UTF8 / Text
			SERVSTATE	UINT32/ PRECISION 0
ADSPI_ KDCCchk	Microsoft AD サービス	MSAD_KDC_Chk	SERVNAME	UTF8 / Text
			SRVDISPNAME	UTF8 / Text
			SERVSTATUS	UTF8 / Text
			SERVSTATE	UINT32 PRECISION 0
ADSPI_ NetLogon	Microsoft AD サービス	MSAD_NetLogon_ Chk	SERVNAME	UTF8 / Text
			SRVDISPNAME	UTF8 / Text
			SERVSTATUS	UTF8 / Text
			SERVSTATE	UINT32/ PRECISION 0

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー名/収集名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
ADSPI_NTFRS	Microsoft AD サービス	MSAD_NTFRS_Chk 注: デフォルトでは、この収集は無効化されています。データをログに記録するには、 MSAD_Collection Definition ポリシーで収集を有効化する必要があります。	SERVNAME	UTF8 / Text
			SRVDISPNAME	UTF8 / Text
			SERVSTATUS	UTF8 / Text
			SERVSTATE	UINT32/ Text PRECISION 0
ADSPI_SAMSS	Microsoft AD サービス	MSAD_SAMSS_Chk	SERVNAME	UTF8 / Text
			SRVDISPNAME	UTF8 / Text
			SERVSTATUS	UTF8 / Text
			SERVSTATE	UINT32/ PRECISION 0
ADSPI_DSFR	Microsoft AD サービス	MSAD_DSFR_Chk	SERVNAME	UTF8 / Text
			SRVDISPNAME	UTF8 / Text
			SERVSTATUS	UTF8 / Text
			SERVSTATE	UINT32/ PRECISION 0

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー名/収集名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
ADSPI_ NTDSCHK	Microsoft AD サービス	MSAD_NTDS_Chk	SERVNAME	UTF8 / Text
			SRVDISPNAME	UTF8 / Text
			SERVSTATUS	UTF8 / Text
			SERVSTATE	UINT32/ PRECISION 0
ADSPI_DFS	Microsoft AD DFSR スルー プット	MSAD_DFS_Rep_ Folders	INSTANCE_NAME	UTF8 / Text
			BANDWIDTH	UTF8 / Text
			COMPRESSED	UTF8 / Text
			CONFLICT_FILE	UTF8 / Text
			CONFLICT_SPACE	UTF8 / Text
			FILE_RETIRED	UTF8 / Text
			FILE_SUCCEEDED	UTF8 / Text
			TOTAL_FILE_RECV	UTF8 / Text
			RDC	UTF8 / Text
ADSPI_DFS_ Con	Microsoft AD DFSR パ フォーマンス	MSAD_DFS_Rep_ Connections	INSTANCE_NAME	UTF8 / Text
			BANDWIDTH	UTF8 / Text
			BYTES_RECV	UTF8 / Text
			COMPRESSED_FILES	UTF8 / Text
			TOTAL_RECV	UTF8 / Text

データストアの テーブル	アスペクト	ポリシー名/収集名	メトリック	メトリックの データタイプ CODA / PA
ADSPI_DFS_vol	Microsoft AD DFSR ボ リューム	MSAD_DFS_Rep_ Svc_Vol	INSTANCE_NAME	UTF8 / Text
			DB_COMMIT	UTF8 / Text
			DB_LOOKUPS	UTF8 / Text
			USN_ACCEPT	UTF8 / Text
			USN_READ	UTF8 / Text
			DFS_VOLS	UTF8 / Text
			USN_PERCENTAGE	UTF8 / Text
ADSPI_ SYSQUEUELE NGTH	Microsoft AD SYSVOL	MSAD_SYSVOL_ DiskQueueLength	SYSQLNAME	UTF8 / Text
			SYSQLVALUE	UINT64/ PRECISION 0

ドキュメントのフィードバックを送信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールでドキュメント制作チームまでご連絡ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

Feedback on オンライン ヘルプの PDF 版 (OMi Management Pack for Microsoft Active Directory 1.00)

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信]をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーして Webメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、docfeedback@hp.com 宛にお送りください。

お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。

